

科目授業名	授業代表教員氏名	ページ数
キャリアプランニング<1>	渡邊 有紀子	2
キャリアプランニング<2>	渡邊 有紀子	6
キャリアプランニング<3>	鈴木 賞子	10
キャリアプランニング<4>	橋本 由香	14
キャリアプランニング<5>	大野 和男	18
キャリアプランニング<6>	丸尾 明美	22
キャリアプランニング<7>	渡邊 有紀子	26
キャリアプランニング<8>	鈴木 賞子	30
キャリアプランニング<9>	渡邊 有紀子	34
キャリアプランニング<10>	大野 和男	38
キャリアセミナー<1>	丸尾 明美	42
キャリアセミナー<2>	鈴木 賞子	46
キャリアセミナー<3>	大野 和男	50
キャリアセミナー<4>	鈴木 賞子	54
キャリアセミナー<5>	大野 和男	58
キャリアセミナー<6>	天川 勝志	62
キャリアセミナー<7>	藤田 純子	66
キャリアセミナー<8>	鈴木 賞子	70
キャリアセミナー<9>	鈴木 賞子	74
キャリアセミナー<10>	丸尾 明美	78
キャリア発展講義(仕事とジェンダー)	藤田 純子	82
キャリア発展講義(グローバルキャリアセミナー)	丸尾 明美	86
ビジネストレーニングセミナー<1>	鈴木 賞子	90
ビジネストレーニングセミナー<2>	鈴木 賞子	94
日本企業の現状と展望	河路 武志	98
インターンシップ準備講座<1>	鈴木 賞子	102
インターンシップ準備講座<2>	鈴木 賞子	106
インターンシップ実習<1>	鈴木 賞子	110
インターンシップ実習<2>	鈴木 賞子	114
インターンシップ実習<3>	河路 武志	118
理工系インターンシップ実習<1>	門内 隆明	122
理工系インターンシップ実習<2>	千代 英一郎	126
理工系インターンシップ実習<3>	酒井 孝	130

科目名	キャリアプランニング <1>		
教員名	渡邊 有紀子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。 	
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60
第2回	<p>「大学での学び」と「社会」との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第3回	<p>「会社」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <2>		
教員名	渡邊 有紀子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。

これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。

到達目標

DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。

- ①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。
- ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。
- ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。
- ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。
- ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。
- ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。 	
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60
第2回	<p>「大学での学び」と「社会」との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第3回	<p>「会社」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <3>		
教員名	鈴木 貴子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。 	
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60
第2回	<p>「大学での学び」と「社会」との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第3回	<p>「会社」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <4>		
教員名	橋本 由香		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。 	
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60
第2回	<p>「大学での学び」と「社会」との関係性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第3回	<p>「会社」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <5>		
教員名	大野 和男		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-キャリアプランニングとは何か ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。	
	【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。	60
第2回	「大学での学び」と「社会」との関係性 ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第3回	「会社」と「ひと」の関係について考える ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <6>		
教員名	丸尾 明美		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-キャリアプランニングとは何か ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。	
	【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。	60
第2回	「大学での学び」と「社会」との関係性 ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第3回	「会社」と「ひと」の関係について考える ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自分を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>大学生活とキャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	<p>【復習】 授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】 授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】 これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <7>		
教員名	渡邊 有紀子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考え自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①自分の大学生活をデザイン・プランニングする。 ②多様化した働き方を知り、進路選択の可能性を知る。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-キャリアプランニングとは何か ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・これまでの大学生活を振り返る。	
	【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。	60
第2回	「大学での学び」と「社会」との関係性 ・大学での学びは社会でどのように活かされるのか。 ・社会人と学生の違いについて理解する。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・自分を取り巻く環境の変化を知る。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第3回	「会社」と「ひと」の関係について考える ・学生にとって会社は身近なもの。 ・会社にとってなぜ「ひと」が重要なのかを知る。 ・会社とは何か、組織とは何かを理解する。 ・会社の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 ・学生生活において視野を広げる方法を知る。 ・これからの社会を予測する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 ・アイデアを出してみよう。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 ・働く選択肢を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>身近なビジネスから社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>身近なビジネスから社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格の意味と職業選択の関連性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	コミュニケーションは社会のベース I <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・大学生活に活かす。 ・コミュニケーションとSNSの違いを理解する。 	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第11回	コミュニケーションは社会のベース II <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第12回	自分を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。	70
第13回	自分を伝える <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第14回	大学生活とキャリアを考える <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・興味のある場所に行ってみる。 ・何を経験するか考えてみる。 ・目標をたてる。 	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第15回	授業のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	【復習】これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 前期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	キャリアプランニング <8>		
教員名	鈴木 貴子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考えて学生としての自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。</p> <p>この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。</p> <p>授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①進路選択に必要な基本知識および情報収集の方法を学ぶ。 ②多様化した働き方を知り、働く人を通して知識を増やす。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・卒業後の進路選択(働く・学ぶ)の可能性を知る。 	
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60
第2回	<p>「学生の責任」と「社会人の責任」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人と学生の違いについて理解し、どのような責任が発生するのかを知る。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・働くことや職業への理解を深める。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第3回	<p>「企業組織」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業とは何か、組織とは何かを理解する。 ・企業活動と企業の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と就職活動の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>ビジネスと職業を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>ビジネスと職業を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・ビジネスや就職活動におけるマナーを理解する。 ・敬語の種類と言葉遣い、表現方法を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自己理解をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>キャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・働く現場やビジネスの現場を知る。 ・何を経験するか考えてみる。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 後期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料・レジュメを授業で配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアプランニング <9>		
教員名	渡邊 有紀子		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考えて学生としての自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。</p> <p>この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。</p> <p>授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>			

到達目標			
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①進路選択に必要な基本知識および情報収集の方法を学ぶ。 ②多様化した働き方を知り、働く人を通して知識を増やす。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	<p>ガイダンス-キャリアプランニングとは何か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・卒業後の進路選択(働く・学ぶ)の可能性を知る。 		
	<p>【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。</p>	60	
第2回	<p>「学生の責任」と「社会人の責任」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人と学生の違いについて理解し、どのような責任が発生するのかを知る。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・働くことや職業への理解を深める。 		
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60	
第3回	<p>「企業組織」と「ひと」の関係について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業とは何か、組織とは何かを理解する。 ・企業活動と企業の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。 		
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。</p>	60	

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と就職活動の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>ビジネスと職業を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>ビジネスと職業を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベースⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・ビジネスや就職活動におけるマナーを理解する。 ・敬語の種類と言葉遣い、表現方法を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベースⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自己理解をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>キャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・働く現場やビジネスの現場を知る。 ・何を経験するか考えてみる。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 後期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料・レジュメを授業で配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアプランニング <10>		
教員名	大野 和男		
科目ナンバー	1201441010	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要	
<p>「キャリア」と聞いて、何をイメージしますか。具体的な職業や仕事内容・職歴や経歴などを思い浮かべる人も多いことでしょう。一般的にキャリアとは、仕事を通して身につけた経験や職歴のことを言いますが、仕事を軸として、人生をどのように生きていけばよいか、つまりは「生き方そのもの」という広義な意味もあります。「自分はどのような人間なのか」「いま自分を取り巻く社会環境はどう変化しようとしているのか」「自分のしたいこと、学びたいことは何なのか」など、大学生活を送って行く中で考えて学生としての自分なりの「キャリア」を蓄積してほしいのです。</p> <p>これらのことは将来社会に出るにあたって欠かす事のできない事ばかりです。これからの学習や経験の一つ一つが、社会へ向けての第一歩を踏み出すために貴重なものであり、自分自身で考えて行動することによって、みなさんの能力が顕在化します。</p> <p>この授業の目標は、自分と社会を知り、多くの情報を自分なりに整理することによって大学生活や進路選択に向けて自分らしい行動計画を立てられるようになることです。自分の能力を過信することも悲観することもなく、自分らしい大学生活を送るためにこの授業を役立てることを期待します。</p> <p>授業では民間企業での実務経験を活かし、社会・組織・職業・実社会のコミュニケーションについて講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の6点を到達目標とします。</p> <p>①進路選択に必要な基本知識および情報収集の方法を学ぶ。 ②多様化した働き方を知り、働く人を通して知識を増やす。 ③社会の動きを知り、自分なりのテーマを持って調べる。 ④グループの中で積極的に自分の意見を述べる。 ⑤書いて伝える、話をして伝える能力を身につける。 ⑥コミュニケーションの多様性を理解する。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-キャリアプランニングとは何か ・授業の内容と目的、進め方、予習と復習の仕方について説明。 ・キャリアとキャリア形成の方法を理解する。 ・卒業後の進路選択（働く・学ぶ）の可能性を知る。	
	【復習】授業を振り返り、授業に対して自分の目標を持つ。 大学生生活のプランを考えてみる。	60
第2回	「学生の責任」と「社会人の責任」 ・社会人と学生の違いについて理解し、どのような責任が発生するのかを知る。 ・責任と自己責任の違いを理解する。 ・働くことや職業への理解を深める。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。	60
第3回	「企業組織」と「ひと」の関係について考える ・企業とは何か、組織とは何かを理解する。 ・企業活動と企業の社会的責任について理解する。 ・労働形態の多様化について理解する。	
	【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で指示された課題に取り組む。	60

第4回	<p>社会を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我々を取り巻く環境はどのように変化しているのか理解する。 ・インターネット以外の情報収集の方法を知る。 ・社会のキーワードやヒット商品から社会のトレンドを知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	90
第5回	<p>社会を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場を知る。 ・アイデアとはどのようにして生まれるのか体験する。 ・ビッグデータとデータの活用について知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第6回	<p>社会に求められる人材と就職活動の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要と方法を理解する。 ・社会が求める人材を理解する。 ・選考過程における多様性や最新の選考方法を知る。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第7回	<p>ビジネスと職業を知る I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第8回	<p>ビジネスと職業を知る II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界と業態の違いを理解する。 ・業界研究の仕方を理解する。 ・仕事（職種）を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べ、説明できるようにする。興味のある業界を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第9回	<p>資格と職業選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格の種類と資格への評価を理解する。 ・資格が必要な職業、資格を活かした職業を理解する。 ・公務員や教員として働くことを理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。興味を持った資格を調べてみる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60

第10回	<p>コミュニケーションは社会のベース I</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションとは何かを理解する。 ・社会で求められる多様なコミュニケーションを理解する。 ・ビジネスや就職活動におけるマナーを理解する。 ・敬語の種類と言葉遣い、表現方法を理解する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第11回	<p>コミュニケーションは社会のベース II</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの方法を知って実践する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだことを実践する。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第12回	<p>自己理解をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の重要性を理解し、自己理解の方法を知る。 ・自己の強みと弱みを認識する。 ・ワークシートに記入する。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。</p>	70
第13回	<p>自分を伝える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己理解の成果を伝える。 ・書き言葉と話し言葉の違いを理解する。 ・書いて伝える。 ・話をして伝える。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。ワークシートを完成させる。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第14回	<p>キャリアを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学生活をどのように送るのかを考える。 ・働く現場やビジネスの現場を知る。 ・何を経験するか考えてみる。 	
	<p>【復習】授業の振り返りをする。授業で学んだキーワードを更に調べて、説明できるようにする。 【予習】授業で提示された課題に取り組む。</p>	60
第15回	<p>授業のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業の振り返りをする。 ・授業の理解度を確認する。 ・視野を広げる。 	
	<p>【復習】これまでの授業を振り返り、理解できていないことや不足していることを確認して調べる。</p>	60

授業の方法

授業は講義を主体に行いますが、授業中に各自が作業を行ったり、グループワークをして発表を行ったりすることがあります。授業では必要に応じてその都度プリント（レジュメ）を配布しますが、各自ノートを準備し板書以外の講義内容を書き取り復習に役立てるようにすること。

毎回、授業の最後に振り返りシートを記入します。狙いは授業をきちんと理解しているか自覚するため、書いて伝える力を養成するためです。

またテーマに応じて課題も出します。

課題の狙い

- ・ 授業で取り上げたキーワードを更に調べ理解を深める。
 - ・ インタビューをしたり調べるプロセスで新たな発見をするため。
- 後期「キャリアプランニング」とシラバスの内容が少し違いますので、履修の際には確認してください。

成績評価の方法

課題提出（20%）、授業への取り組みやグループワークへの積極的参加（40%）、期末レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

具体的な達成度

- ① 時事用語について説明できる。
- ② 自分の意見や考えを根拠を明確に伝えることができる。
- ③ 自分の意見や考えを「書く」「話す」で積極的に発信できる。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識／特別な予備知識は必要ありませんが、常に社会への関心を持ち、知らないことは調べ知識を増やす努力をしてください。
関連科目／キャリアセミナー

テキスト

特定のテキストは使用しません。必要な資料・レジュメを授業で配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示しますが、以下の書籍を理解促進として参照。
鈴木賞子著『大学生活・就活・キャリアがよくわかる本』（同友館）。
また日頃から新聞を読んだり、テレビの報道番組などを見ておくことも大切です。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアセミナー <1>		
教員名	丸尾 明美		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業のテーマは「社会と自分を知り、自分のキャリアを考える」です。将来どうなりたいのか？を考えるためには、まず自分が将来生きていく世の中のことを知る必要があります。また、その世の中のどこでどのように生きていくのが良いのかを知るためには、自分の特性を知る必要があります。

この授業では毎回グループワークを通じて、「社会についての知識」を主体的に調べ、考え、それを人に伝えることを行います。その活動の中で、社会に対する理解を深め、人との協働の中から自分の特性を知り、自分の将来のキャリアを考えていきます。同時に、グループワーク、個人ワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを繰り返し行うことで、社会で必要とされる「社会人基礎力」「情報収集力」「対人対応力」「プレゼンテーション能力」「レポート作成力」を高めていきます。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の3点を到達目標とします。

1. 社会、企業、職業についての知識が増え、理解が深まること
2. 自らの将来のキャリアイメージ、およびそこへ向かう計画が描けるようになること
3. 社会で通用する実践的な対人スキル（社会人基礎力、コミュニケーション能力）が向上すること

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業オリエンテーション（授業の目的と進め方） チームビルディング／グループワークの進め方 今、社会で求められる人材とは？	
	【復習】授業で学んだことに関連する実際のニュースなど社会の情報を調べ、理解を深める。	60分
第2回	社会を知る① 経済の面から社会・企業を理解する 株式学習ゲーム（1）ゲームの説明	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	60分
第3回	社会を知る② 株式学習ゲーム（2） グループディスカッションで投資先を探す	
	【予習】授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。	60分

第4回	<p>社会を知る③ 株式学習ゲーム（3） グループでプレゼンテーションの準備を進める</p>	
	<p>【予習】授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。</p>	90分
第5回	<p>社会を知る④ 株式学習ゲーム（4） 投資先についてのグループプレゼンテーション</p>	
	<p>【予習】授業内で行うグループワークの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める</p>	90分
第6回	<p>社会を知る⑤ 株式投資ゲーム（5） プレゼンテーションの振り返り 社会・企業の動きや実態を理解する</p>	
	<p>【予習】授業内で行うグループプレゼンテーションの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める</p>	90分
第7回	<p>仕事を知る① 仕事の「課題解決」とは何かを学ぶ 課題解決の手法を学ぶ グループディスカッションで取組む課題を考える</p>	
	<p>【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。</p>	60分
第8回	<p>仕事を知る② 課題解決プロジェクト（1） グループで課題解決のディスカッション</p>	
	<p>【予習】授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。【復習】次回の授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。</p>	60分
第9回	<p>仕事を知る③ 課題解決プロジェクト（2） グループでプレゼンテーション準備</p>	
	<p>【予習】授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。</p>	90分

第10回	仕事を知る④ 課題解決プロジェクト（3） 課題解決プロジェクトプレゼンテーション（前半）	
	【予習】授業内で行うグループワークの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める。	90分
第11回	仕事を知る⑤ 課題解決プロジェクト（4） 課題解決プロジェクトプレゼンテーション（後半）	
	【予習】授業内で行うグループプレゼンテーションの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	90分
第12回	仕事を知る⑥ 課題解決プロジェクト（5） 課題解決プロジェクトの振り返り 仕事と学びの接点を知る	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	60分
第13回	キャリアデザイン上の自分の課題を考える 計画力、行動力を上げる方法を学ぶ	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、自分自身の行動計画を立てる。（第15回授業で発表）	90分
第14回	社会を知る⑥ 株式投資ゲーム（6）結果発表 投資結果のグループプレゼンテーション	
	【予習】授業内でグループプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだことに関連する情報を調べるなど、さらに知識を深める	90分
第15回	総まとめ 行動計画のプレゼンテーション これまで学んできたことの総復習	
	【予習】第13回で学んだことを基に、自己の計画案を作り上げ、個人でプレゼンテーションの準備をし てくる。 【復習】授業で発表した行動計画について見直しを行い、自分でより完成度を高める。	60分

授業の方法

参加型授業です。個人またはグループごとに、情報を調べたり、それを使ってワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを繰り返し行います。最初は苦手という人でも、休まずに毎回授業に出席し、授業で行う課題にしっかり取り組んでいけば、人前で発表したり、相手の意見に対して即座に自分の意見を述べたり、論理的に物事を考え、伝える力などが「必ず」鍛えられ、自信がつきます。毎回休まず出席してください。

成績評価の方法

- 1) コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%
 - 2) 課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%
- ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特に必要な予備知識、先修科目はありません。

テキスト

テキストは使用しません。授業内で資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	キャリアセミナー <2>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

この授業のテーマは「現代社会」を知り「自分のこれからを考える」です。自分の中には様々な可能性があります。その可能性は人と関わったり、様々なことに興味を持ったりすることで広がって行きます。我々を取り巻く社会を知りこれからの社会がどのように変わっていくのかを予測します。そこには社会と密接に関わりながら働く場があり、また自分を活かす場があるということを知ることでしょう。これは卒業後の進路を考える上で大切なことです。

授業は講義中心ではなく、グループワークを通じて自分の持ち味（強み・知識・能力など）に気づき発揮し伸ばしていくことを目的とします。そのプロセスでコミュニケーション能力や書いて伝える・書いて伝える表現力も身に付くでしょう。自分の考えを発信することの大切さを感じてほしいです。

授業では製造業（メーカー）での人事部門と出版社での実務経験を活かし、情報収集・インタビュー・取材・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。

到達目標

DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の5点を到達目標とします。

- ①社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。
- ②行動することを大事にし、ビジネスや様々な現場に行き調べる。
- ③自分の意見を根拠を明確に積極的に発信する。
- ④他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。
- ⑤自分なりの課題を見つけ、解決に向けて取り組む。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス ・ 授業の目的と進め方を説明。 ・ グループメンバーの相互理解。 ・ ウォーミングアップグループワーク & 自己紹介	
	次週への課題への取り組み。	60
第2回	社会環境と社会に求められる「力」 ・ ビジネスを取り巻く環境を知る。 ・ ヒット商品のキーワードを理解する。 ・ サービスの進化を知る。	
	授業の振り返りとキーワードを更に調べる。次週課題への取り組み。	60
第3回	グループワーク I（調査）-① ・ グループを作り、テーマを決める。 ・ チームビルディングを意識して話し合いをする。	
	次週課題を調べる。	90

第4回	グループワーク I (調査) -② <ul style="list-style-type: none"> 調べた結果や情報を共有化する。 話し合いをする。 次週に向けて役割を決める。 	
	次週課題への取り組み。現場調査に行く。	120
第5回	グループワーク I (調査) -③ <ul style="list-style-type: none"> 調査結果の報告と情報の共有化をする。 話し合いをする。 プレゼンテーションに向けての準備をする。 次週への役割と課題を確認する。 	
	プレゼンテーション資料の作成と準備をする。	120
第6回	プレゼンテーション I -① <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションをする。 他のグループのプレゼンテーションを評価する 	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第7回	プレゼンテーション I -② <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションをする。 他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第8回	プレゼンテーション・グループワークとは <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを振り返る。 グループへの評価をフィードバックをする。 プレゼンテーションの基本を理解する。 	
	優勝チームの発表 & 各チームへのフィードバック。グループワークの振り返り。次のグループワークへの準備をする。	60
第9回	グループワーク II (新しいビジネスを考える) -① <ul style="list-style-type: none"> 前回のグループワークを参考にアイデアを出す。 	
	役割を理解し、課題に取り組む。	90

第10回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-② <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合いをする。 ・アイデアを出し合う。 ・次週までの役割分担をする。 	
	役割を理解し、現地踏査をする。	120
第11回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-③ <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合う。 ・情報の共有化をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。 	
	プレゼンテーション資料の作成をする。プレゼンテーションの準備をする。	120
第12回	プレゼンテーションⅡ-① <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションの振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第13回	プレゼンテーションⅡ-② <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションを振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第14回	授業のまとめ-世界の中の日本・日本の中の世界 <ul style="list-style-type: none"> ・世界で認められている日本の文化を映像で観る。 ・起業とは何かを理解する 	
	授業を振り返り、課題を明確にし、広い視野で行動計画をたてる。 次週の個人プレゼンテーションへ向けてテーマを探す。	90
第15回	個人プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・各個人のプレゼンテーション ・他者のプレゼンテーションから学ぶ 	
	テーマを決めて伝えたいことをプレゼンする。	120

授業の方法

グループで自由にテーマを設定し、調査や情報収集をしながらグループワークを実施します。グループ内で積極的に意見交換をしながら進めていきます。そのプロセスでコミュニケーション能力が身に付き、社会や企業に関する知識も増えていきます。グループワークの成果はプレゼンテーションという形で実施します。2回行いますので、違うテーマ（調査する・新しいビジネスを興す）で取り組み、社会やビジネスへの理解を更に深めていくことが可能です。

授業以外でも現場を訪れて自分の目で確かめたり、好奇心旺盛に行動することが楽しくなっていくと思います。授業全体を通して、表現方法やマナーなども身につけることができるように、その都度気付いたことなどをフィードバックしていきます。楽しく、興味深く、積極的に取り組みましょう。

授業はあくまでも学生の皆さんが主体ですが、グループワークのプロセスではグループ毎に質問を受け付けたり調査方法やインタビューの仕方などについてアドバイスをします。

社会を理解し、職業選択に活かすきっかけにもしてください。

成績評価の方法

コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50％
課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50％
ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①グループワークへの取り組みと協力。
- ②授業中の提出物への内容。
- ③プレゼンテーションへの取り組みと成果。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、新聞を読んだりニュースを見たり、社会に関心を持ってください。

テキスト

テキストは使用しませんが、必要に応じて資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアセミナー <3>		
教員名	大野 和男		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

ゼミのテーマは「社会と自分を考える」です。これから自分の進路を考えながら充実した学生生活を送ろうとしている学生のみなさんにとって、就職活動は不安なものに思えるかもしれません。「就職に役立つ資格をとりたい」とか「就職に役立つ勉強をしたい」ということをよく耳にします。しかし、就職のための一番の対策は「自分自身が社会人になるためにどう成長するのかというプロセス」を見つけ出し、行動することです。

社会人になるために必要なものの一つに「コミュニケーション力」があります。このゼミでは、グループディスカッション・グループワーク・ディベートなどを通じ、「聴く・話す・書く」といった「コミュニケーション力」の向上を目指します。その中で「社会と自分を知る」ことで自分の課題を見つけ、どう成長していくかを考えて欲しいと思います。また、社会問題やビジネスをテーマに「情報収集し分析する」ことを繰り返し行うことで「問題解決力」「論理的思考」の向上を目指します。

講師の保険業界営業部門での実務経験に基づき、実践で活かせるコミュニケーションのポイントについて指導いたします。

授業の進捗によって、内容を一部変更する場合があります。

到達目標

「DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の2点を到達目標とします。」

- 「話す・聴く・書く」といった「コミュニケーション力向上」
 - 積極的に人にに関わり、自分の意見を論理的に伝えられるようになること
 - 相手の考え・意図を聞き取れるようになる
 - 自分の考えを分かりやすく文章化することができるようになる
- 社会・経済・時事などに関心を持ち自ら調べて分析できるようになる

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	イントロダクション（ゼミの進め方などの説明） 「個々人の授業での目標」プレゼンテーション	
	【予習】 シラバスをよく読んでゼミの目的、進め方を理解する	30
第2回	効果的な自己紹介とコミュニケーション	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む 【復習】 今回学んだことを基に自己紹介を改善し実践してみる	60
第3回	面接とコミュニケーション	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60

第4回	グループディスカッション・グループワークの進め方 「社会問題」をテーマにグループディスカッション（1）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のディスカッションテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第5回	「社会問題」をテーマにグループディスカッション（2）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第6回	「ビジネス体験」をテーマにグループワーク（1）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第7回	「大学生活」をテーマにグループワーク（2）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第8回	「前半振り返り、今後の改善点」をテーマにグループワーク（3）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のディベートテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第9回	「社会問題」をテーマにディベート①（準備）	
	【予習】 ディベートの準備をする 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60

第10回	「社会問題」をテーマにディベート②（実践）	
	<p>【予習】 業界研究発表に向けて情報収集・準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する</p>	60
第11回	<p>「業界研究・発表」をテーマにグループワーク①</p> <p>・業界情報共有、発表業界決め、プレゼンコンセプト・進め方・調査役割分担決め</p>	
	<p>【予習】 業界研究発表に向けて情報収集・準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する</p>	60
第12回	<p>「業界研究・発表」をテーマにグループワーク②</p> <p>・進捗状況確認・収集情報まとめ・レジュメ作成準備・発表方法確認</p>	
	<p>【予習】 来週の業界研究発表の準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第13回	<p>「業界研究発表」グループプレゼンテーション③</p> <p>* 課題レポート内容説明</p>	
	<p>【予習】 今まで学んできたことをまとめておく。課題レポートを作成する。</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第14回	<p>「良いグループディスカッション・グループワークとは」をテーマにグループディスカッション（3）</p>	
	<p>【予習】 プレゼンテーションに向けての準備、リハーサルを行う。講座全体での到達度を考え、不足している点をまとめる。</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第15回	<p>課題レポート内容のプレゼンテーション</p> <p>「全体の振り返りと今後の課題」を個々人でまとめる</p> <p>* 課題レポート提出</p>	
	<p>【復習】 講座全体で学んだことをまとめる。自分の到達目標に対しての到達度を考え、不足している点をまとめる。</p>	60

授業の方法

発表と討論が基本になります。ほとんどはグループ形式で行います。
第5回～第9回までのテーマは前回（第5回でしたら第4回）の授業でテーマを伝え、テーマについて事前に情報収集をすることを宿題といたします。
毎回文章の作成なども行います。

成績評価の方法

○コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50％
○課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50％
ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありません

テキスト

特定のテキストは使用しません。
必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要な参考文献は授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	キャリアセミナー <4>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要	
<p>この授業のテーマは「現代社会」を知り「自分のこれからを考える」です。自分の中には様々な可能性があります。その可能性は人と関わったり、様々なことに興味を持ったりすることで広がって行きます。我々を取り巻く社会を知りこれからの社会がどのようになっていくのかを予測します。そこには社会と密接に関わりながら働く場があり、また自分を活かす場があるということを知ることでしょう。これは卒業後の進路を考える上で大切なことです。</p> <p>授業は講義中心ではなく、グループワークを通じて自分の持ち味（強み・知識・能力など）に気付き発揮し伸ばしていくことを目的とします。そのプロセスでコミュニケーション能力や書いて伝える・書いて伝える表現力も身に付くでしょう。自分の考えを発信する大切さを感じてほしいです。</p> <p>授業では製造業（メーカー）での人事部門と出版社での実務経験を活かし、情報収集・インタビュー・取材・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の5点を到達目標とします。</p> <p>①社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。 ②行動することを大事にし、ビジネスや様々な現場に行き調べる。 ③自分の意見を根拠を明確に積極的に発信する。 ④他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。 ⑤自分なりの課題を見つけ、解決に向けて取り組む。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	ガイダンス ・授業の目的と進め方を説明。 ・グループメンバーの相互理解。 ・ウォーミングアップグループワーク&自己紹介	
	次週への課題への取り組み。	60
第2回	社会環境と社会に求められる「力」 ・ビジネスを取り巻く環境を知る。 ・ヒット商品のキーワードを理解する。 ・サービスの進化を知る。	
	授業の振り返りとキーワードを更に調べる。次週課題への取り組み。	60
第3回	グループワーク I (調査) -① ・グループを作り、テーマを決める。 ・チームビルディングを意識して話し合いをする。	
	次週課題を調べる。	90

第4回	グループワーク I (調査) -② <ul style="list-style-type: none"> 調べた結果や情報を共有化する。 話し合いをする。 次週に向けて役割を決める。 	
	次週課題への取り組み。現場調査に行く。	120
第5回	グループワーク I (調査) -③ <ul style="list-style-type: none"> 調査結果の報告と情報の共有化をする。 話し合いをする。 プレゼンテーションに向けての準備をする。 次週への役割と課題を確認する。 	
	プレゼンテーション資料の作成と準備をする。	120
第6回	プレゼンテーション I -① <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションをする。 他のグループのプレゼンテーションを評価する 	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第7回	プレゼンテーション I -② <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションをする。 他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第8回	プレゼンテーション・グループワークとは <ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションを振り返る。 グループへの評価をフィードバックをする。 プレゼンテーションの基本を理解する。 	
	優勝チームの発表 & 各チームへのフィードバック。グループワークの振り返り。次のグループワークへの準備をする。	60
第9回	グループワーク II (新しいビジネスを考える) -① <ul style="list-style-type: none"> 前回のグループワークを参考にアイデアを出す。 	
	役割を理解し、課題に取り組む。	90

第10回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-② <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合いをする。 ・アイデアを出し合う。 ・次週までの役割分担をする。 	
	役割を理解し、現地踏査をする。	120
第11回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-③ <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合う。 ・情報の共有化をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。 	
	プレゼンテーション資料の作成をする。プレゼンテーションの準備をする。	120
第12回	プレゼンテーションⅡ-① <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションの振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第13回	プレゼンテーションⅡ-② <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションを振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第14回	授業のまとめ-世界の中の日本・日本の中の世界 <ul style="list-style-type: none"> ・世界で認められている日本の文化を映像で観る。 ・起業とは何かを理解する 	
	授業を振り返り、課題を明確にし、広い視野で行動計画をたてる。 次週の個人プレゼンテーションへ向けてテーマを探す。	90
第15回	個人プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・各個人のプレゼンテーション ・他者のプレゼンテーションから学ぶ 	
	テーマを決めて伝えたいことをプレゼンする。	120

授業の方法

グループで自由にテーマを設定し、調査や情報収集をしながらグループワークを実施します。グループ内で積極的に意見交換をしながら進めていきます。そのプロセスでコミュニケーション能力が身に付き、社会や企業に関する知識も増えていきます。グループワークの成果はプレゼンテーションという形で実施します。2回行いますので、違うテーマ（調査する・新しいビジネスを興す）で取り組み、社会やビジネスへの理解を更に深めていくことが可能です。

授業以外でも現場を訪れて自分の目で確かめたり、好奇心旺盛に行動することが楽しくなっていくと思います。授業全体を通して、表現方法やマナーなども身につけることができるように、その都度気付いたことなどをフィードバックしていきます。楽しく、興味深く、積極的に取り組みましょう。

授業はあくまでも学生の皆さんが主体ですが、グループワークのプロセスではグループ毎に質問を受け付けたり調査方法やインタビューの仕方などについてアドバイスをします。

社会を理解し、職業選択に活かすきっかけにもしてください。

成績評価の方法

コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%

課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%

ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①グループワークへの取り組みと協力。
- ②授業中の提出物への内容。
- ③プレゼンテーションへの取り組みと成果。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、新聞を読んだりニュースを見たり、社会に関心を持ってください。

テキスト

テキストは使用しませんが、必要に応じて資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアセミナー <5>		
教員名	大野 和男		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
<p>ゼミのテーマは「社会と自分を考える」です。これから自分の進路を考えながら充実した学生生活を送ろうとしている学生のみなさんにとって、就職活動は不安なものに思えるかもしれません。「就職に役立つ資格をとりたい」とか「就職に役立つ勉強をしたい」ということをよく耳にします。しかし、就職のための一番の対策は「自分自身が社会人になるためにどう成長するのかというプロセス」を見つけ出し、行動することです。</p> <p>社会人になるために必要なものの一つに「コミュニケーション力」があります。このゼミでは、グループディスカッション・グループワーク・ディベートなどを通じ、「聴く・話す・書く」といった「コミュニケーション力」の向上を目指します。その中で「社会と自分を知る」ことで自分の課題を見つけ、どう成長していくかを考えて欲しいと思います。また、社会問題やビジネスをテーマに「情報収集し分析する」ことを繰り返し行うことで「問題解決力」「論理的思考」の向上を目指します。</p> <p>講師の保険業界営業部門での実務経験に基づき、実践で活かせるコミュニケーションのポイントについて指導いたします。</p> <p>授業の進捗によって、内容を一部変更する場合があります。</p>			

到達目標			
<p>「DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の2点を到達目標とします。」</p>			
<p>1. 「話す・聴く・書く」といった「コミュニケーション力向上」</p> <p>①積極的に人にに関わり、自分の意見を論理的に伝えられるようになること</p> <p>②相手の考え・意図を聞き取れるようになる</p> <p>③自分の考えを分かりやすく文章化することができるようになる</p>			
<p>2. 社会・経済・時事などに関心を持ち自ら調べて分析できるようになる</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
第1回	イントロダクション（ゼミの進め方などの説明）		
	「個々人の授業での目標」プレゼンテーション		
	【予習】 シラバスをよく読んでゼミの目的、進め方を理解する	30	
第2回	効果的な自己紹介とコミュニケーション		
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む	60	
	【復習】 今回学んだことを基に自己紹介を改善し実践してみる		
第3回	面接とコミュニケーション		
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む	60	
	【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する		

第4回	グループディスカッション・グループワークの進め方 「社会問題」をテーマにグループディスカッション（1）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のディスカッションテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第5回	「社会問題」をテーマにグループディスカッション（2）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第6回	「ビジネス体験」をテーマにグループワーク（1）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第7回	「大学生活」をテーマにグループワーク（2）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のワークテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第8回	「前半振り返り、今後の改善点」をテーマにグループワーク（3）	
	【予習】 1週間の新聞、ニュースを読む。来週のディベートテーマについて調べる 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60
第9回	「社会問題」をテーマにディベート①（準備）	
	【予習】 ディベートの準備をする 【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する	60

第10回	「社会問題」をテーマにディベート②（実践）	
	<p>【予習】 業界研究発表に向けて情報収集・準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する</p>	60
第11回	<p>「業界研究・発表」をテーマにグループワーク①</p> <p>・ 業界情報共有、発表業界決め、プレゼンコンセプト・進め方・調査役割分担決め</p>	
	<p>【予習】 業界研究発表に向けて情報収集・準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する</p>	60
第12回	<p>「業界研究・発表」をテーマにグループワーク②</p> <p>・ 進捗状況確認・収集情報まとめ・レジュメ作成準備・発表方法確認</p>	
	<p>【予習】 来週の業界研究発表の準備をする</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第13回	<p>「業界研究発表」グループプレゼンテーション③</p> <p>* 課題レポート内容説明</p>	
	<p>【予習】 今まで学んできたことをまとめておく。課題レポートを作成する。</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第14回	「良いグループディスカッション・グループワークとは」をテーマにグループディスカッション（3）	
	<p>【予習】 プレゼンテーションに向けての準備、リハーサルを行う。講座全体での到達度を考え、不足している点をまとめる。</p> <p>【復習】 今回学んだことを振り返り深く理解する。</p>	60
第15回	<p>課題レポート内容のプレゼンテーション</p> <p>「全体の振り返りと今後の課題」を個々人でまとめる</p> <p>* 課題レポート提出</p>	
	<p>【復習】 講座全体で学んだことをまとめる。自分の到達目標に対しての到達度を考え、不足している点をまとめる。</p>	60

授業の方法

発表と討論が基本になります。ほとんどはグループ形式で行います。
第5回～第9回までのテーマは前回（第5回でしたら第4回）の授業でテーマを伝え、テーマについて事前に情報収集をすることを宿題といたします。
毎回文章の作成なども行います。

成績評価の方法

○コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%
○課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%
ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/ Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありません

テキスト

特定のテキストは使用しません。
必要な資料があれば授業中に配布します。

参考書

必要な参考文献は授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付ける。

科目名	キャリアセミナー <6>		
教員名	天川 勝志		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

「学ぶ」と「働く」を接続する-「接点」をつくろう
 学生から社会人へとスムーズに移行していくためには、学生時代から、社会（仕事）との接点を持ち、段階的に立場・役割・思考の転換を果たしていくことが重要です。また、ジブンと仕事（働く）、双方の理解も必要です。
 そのためには、①いまのジブンに足りないものや改善課題への気づき、②接続先としての仕事の理解、③国内外の問題・課題認識が求められます。
 こうした課題を解決するため、自己のSWOT分析を行い、自己の強み・弱みを見える化します。そして最終的には「自己PRパンフレット」を作成し、プレゼンしてもらいます。また、人材育成業界での実務経験を生かして作成したビジネスケースを使って、職場での就業を疑似体験しながら、仕事で求められる能力・スキルを考えることができることもこの授業の特徴です。
 なお、毎回の授業冒頭にて、「今週の出来事」というコーナーを設け、毎週の出来事、気づきなどを発表する場を設けます。
 ※) なお、学生の皆さんの要望、皆さんのプレゼンスキルなどを見て、一部内容を変更することもあります。
 ※) 「授業の計画・内容」のなかで、タイトルのあとに、「(講義)」「(演習)」など、主な授業形態を示してあります。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するため、次の4点を到達目標とします。常にこれらの到達目標を意識しながら授業、予習・復習に臨んでください。
 ①常にジブンと社会・仕事とのスムーズな接続を考えながら、大学での研究、課外活動等に取り組むことができる
 ②常に自己課題を発見し、改善計画を立て、PDCAサイクルを回せるようになる
 ③チームでの討議、協働活動を通して、メンバーを巻き込んだり（リーダーシップの発揮）、チームのために役割を果たしたりすることができる（フォローシップ）
 ④中長期の視点で、自己のキャリア形成を考えることができる
 ⑤チームでの討議、協働を通して、表現力（自分の思いや意図を正確・簡潔に言語化、文章化する力）を発揮する

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	<ガイダンス（講義）> ・全体の流れ、授業の目的、目標、方法、評価等の重要事項の共有 ・自己紹介（全員） ・ゴールの確認・共有	
	【予習】60秒での自己紹介文を作成、リハーサルを行ったうえで、参加してください。なお、自己紹介のなかには、自分の所属学部での学び、もしくは課外活動などのなかから、1つを選び具体的に紹介してください。 テキスト：はじめに、序章	60
第2回	<ジブンは「大人（社会人）」になりきれているか（演習）> ・大人（社会人）を定義する ・自己課題の可視化（SWOT分析）	
	【予習】テキスト第8章 【復習】自己の気づき、課題を整理してください	60
第3回	<「学ぶ」から「働く」への転換①（演習）> ・「働く」の具体的内容を抽出する ・「働く」ために求められる能力、スキル、適性 ・大学での学びの生かし方を考える	
	【予習】テキスト第1・2章	60

第4回	<「学ぶ」から「働く」への転換②（演習）> <ul style="list-style-type: none"> ・何が変わるのか（変わらなければならないのか） ・ジブンの就業上の課題の発見 	
	【予習】テキスト第3・4章 【復習】就業上の自己課題を整理してください	120
第5回	<接点を増やす（演習）> <ul style="list-style-type: none"> ・いまの学びを他者に紹介する ・身近に広がる接点を探す ・いまのジブンの接続先を抽出する 	
	【復習】現在の接続先を整理してください	60
第6回	<仕事の擬似体験（営業職編）（演習）> <ul style="list-style-type: none"> ・営業担当者に求められること ・いま、ジブンがトレーニングすべきこと 	
	【予習】テキスト第5・6章 【復習】総合職としての就業にあたり、不足していることを書き出してください（総合職との接続）	60
第7回	<仕事の擬似体験（営業職編）（演習）> <ul style="list-style-type: none"> ・営業担当者に求められること ・いま、ジブンがトレーニングすべきこと 	
	【予習】テキスト第7章 【復習】営業職としての就業にあたり、不足していることを書き出してください（営業職との接続）	60
第8回	<自分パンフレット制作のコツ（講義）> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なパンフレットの検討 ・ジブンの打ち出しを考える（あなたの軸） ・パワーポイントの作法と留意点 	
	【復習】ジブンの打ち出しを決めてください（最大の売りを考える）	60
第9回	<日本の課題を説明する（演習）> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の特徴的課題を共有する（人口減少、少子化・超高齢化、AI開発・進展に伴い、生活・社会がどのように変化していくかを想像する） ・日本の課題が業界に及ぼす影響 	
	【復習】10年先の日本社会の様子を「具体的」に描いてください	120

第10回	<世界の課題を説明する（演習）> ・基本データの共有（世界人口、国・地域の数、CO2排出量の多い国など、基本データを共有する） ・グローバル課題（環境、教育、経済におけるグローバル課題を知る） ・日本の強みを知る（輸出量の多いもの、世界での日本の強みを知る）	
	【復習】 データを振り返り、ジブンの就きたい仕事・業界等のおかれている状況を確認してください	60
第11回	<業界研究（講義）> ・開発・生産から小売までの間にある仕事を考える ・B to B企業に着目する ・「want」を大切にしたい仕事・会社探し	
	【復習】 ジブンのwantから具体的な業界を抽出してみてください	60
第12回	<女性固有のキャリア形成> ・中長期の視点で考える（多様な女性の人生設計） ・社員、女性が働きやすい職場の条件等を抽出する ・女性の強みを生かした働き方を考える	
	【復習】 自分にとって働きやすいと思われる条件を整理してください（中長期の視点で仕事とジブンを接続させる）	60
第13回	<プレゼン（自分パンフレットの制作・発表）> ・自分のプロモーションを行う（①） ・評価する	
	【予習】 リハーサルを徹底的に行い、本番に臨んでください（ジブンと職場との接続）	120
第14回	<プレゼン（自分パンフレットの制作・発表）> ・自分のプロモーションを行う（②） ・評価する ・投票	
	【予習】 リハーサルを徹底的に行い、本番に臨んでください（ジブンと職場との接続）	120
第15回	<振り返り> ・投票結果発表 ・プレゼン結果の振り返り ・全15回の振り返り	
	【復習】 全15回の振り返りを行ってください（自己の客観視、変革意識、社会課題の解決、いっしょに働きたいと選ばれるジブンへの挑戦など）	120

授業の方法

授業は、「社会・仕事とのスムーズな接続」を考えるとともに、「接点をつくる場」であるご理解ください。演習、ビジネスケースは、個人、もしくはチームにて、考えてもらいます。そして、それらを言語やドキュメントにて表現したり、発表したりしてもらいます。こうしたトレーニングを通して、ジブンの考え、チームの見解を表現する力をつけてもらいます。ジブンの思いや考えを言語化する、ドキュメント化する難しさ、周囲を説得する難しさを、体験していただきます。また、ワーク等では、いままでの自分と比較して、何を、どの程度できるようになったかを意識して取り組み、「気づき」の感度を高めていってください。さらに、チームメンバーを観察し、自己課題に気づく機会としてください。

成績評価の方法

コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%、課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%
ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

次の点に着目し、その達成度により評価します。

- ①グループワークについて：自分の役割を認識し、主体的・積極的に参画しているか。
- ②提出物について：授業内容を理解したうえで、どのようなことに気づいたのか。
- ③プレゼンテーションについて：授業内容、改善事項を踏まえたプレゼンテーションになっているか。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、新聞・雑誌を読んだり、ニュースを見たりして、社会の動きに敏感になってください。

テキスト

「あなたと働きたいと言われる42のルール」（同友館）、そのほか必要に応じて、ワークシート等を配付します。

参考書

授業のなかで、随時、読んでおいてほしい書籍等を随時提示していきます。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業開始前、終了後に教室で受け付けます。 また、随時、電子メールでも受け付けます。

科目名	キャリアセミナー <7>		
教員名	藤田 純子		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業では、現代社会における社会参加のあり方の中で「職業を持つ」ことについて様々な角度から考えます。学生から社会人へ変わっていく過程において、自分の進路に不安を感じるかもしれませんが、就職活動は積極的に推進したいものです。授業のテーマは、まずコミュニケーション力をつけることとし、その向上のために「話す、書く」ことから始めます。そのような作業を通して「自分とは」、「自分らしく生きる」ことについて考えます。さらに自立した大人が、社会の中である役割を担うこと、つまり「働く」ことに焦点を合わせながら、これから社会人になる学生のみなさんにとって避けられない「社会とは」、「企業社会」について勉強していきます。とりわけ、社会問題や企業でのテーマについて、熱意をもってグループ・ワークに取り組み、プレゼンテーション力を高めましょう。

到達目標

学生のみなさんが、将来、社会で活躍するのに不可欠な「①深く考える力、②伝える力、③行動する勇気」を身につけ、「④進路決定能力」を高め、その上で「⑤社会人としてのマナー」を習得することを目標とします。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	イントロダクション ① 授業の進め方などの説明 ② グループ分け ③ メンバー間の相互理解 (予習) シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	30分
第2回	自分の分析(1) ○ 自己分析シート2を作成する。 (自分の性格について幼年期から現在までの恩師、両親・きょうだいの指摘と自分の記憶を記入。自分の未来についてのイメージ・目標を書く) ○ 書いてみて感じたこと、戸惑ったことをグループで話し合う。 (予習) 自己分析シート1を作成 (小学校から大学時代までの経験について)	60分
第3回	効果的な自己紹介プレゼンテーション(2) (予習) 企業での面接を前提とした、3分間の自己紹介文を作成する。	60分

第4回	「自分らしく生きること」を考える(3) 進路・キャリア計画シートの作成	
	(予習・復習) 自分の将来の計画について具体的に確認する。	60分
第5回	社会について考えよう(1) 社会の最小単位としての家族 * 5回~8回、10~13回ではグループ討論、グループ発表があります。	
	(予習・復習) 家族に関する新聞記事を収集し、ドキュメンタリー番組を視聴する。	60分
第6回	社会について考えよう(2) 社会で何が起きているのだろう * 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。 。	
	(予習・復習) 新聞記事を読み、資料作成の準備を行う。	60分
第7回	企業について考えよう(1) 設定された事例について、課題解決プランを考える。 * 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。	
	(予習・復習) プレゼンテーションの資料の作成をする。	60分
第8回	企業について考えよう(2) 課題解決プランのプレゼンテーションを行う。 * 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。	
	(予習・復習) プレゼンテーションの資料作成と準備を行う。	60分
第9回	特別講義 * 9回はゲスト・スピーカーによるキャリアについての講義を予定。	
	(予習・復習) 新聞記事を読み、報道番組を視聴する。ゲスト・スピーカーのメッセージを振り返ってみる。	60分

第10回	<p>職業を持つこと (1) (事例から職業観、勤労観を考える)</p> <p>* 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。</p>	
	<p>(予習・復習) 新聞記事から、キャリア探索を行う。</p>	60分
第11回	<p>職業を持つこと (2) (事例から職業観、勤労観を考える)</p> <p>* 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。</p>	
	<p>(予習・復習) グループ・ワークのための情報を集めておく。「職業人についてのインタビュー調査」を行う準備をする。</p>	60分
第12回	<p>職業を持つこと (3) (事例から職業観、勤労観を考える)</p> <p>* 5回~8回、10回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。</p>	
	<p>(予習・復習) 「職業人についてのインタビュー調査」の準備をする。</p>	60分
第13回	<p>職業を持つこと (4) (事例から職業観、勤労観を考える)</p> <p>* 5回~13回ではグループ討論、グループ発表があります。</p>	
	<p>(予習・復習) プレゼンテーションに向けた準備をしておく。</p>	60分
第14回	<p>基本事項の復習と最終レポートのための発表</p>	
	<p>(予習・復習) プレゼンテーション全般をレビューし、課題を明らかにする。</p>	60分
第15回	<p>振り返りと授業のまとめ</p>	
	<p>(予習) プレゼンテーション全般のレビューをしておく。</p>	60分

授業の方法

授業では講義とグループ・ワークでの作業、発表を行います。視聴覚教材も活用します。

成績評価の方法

平常点（授業への参加状況、授業中の発表や発言）40%とレポート60%による総合評価。ゼミ形式の授業なので、全部出席することが前提であり、5回以上欠席した場合には原則として評価は「F」となる。（入院等の特別な事情がある場合には別途考慮する。）

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

テキストは使用しない。必要な資料は授業中に配布します。

参考書

授業中に提示をします。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受けつける。

科目名	キャリアセミナー <8>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
<p>この授業のテーマは「現代社会」を知り「自分のこれからを考える」です。自分の中には様々な可能性があります。その可能性は人と関わったり、様々なことに興味を持ったりすることで広がって行きます。我々を取り巻く社会を知りこれからの社会がどのようなようになっていくのかを予測します。そこには社会と密接に関わりながら働く場があり、また自分を活かす場があるということを知ることでしょう。これは卒業後の進路を考える上で大切なことです。</p> <p>授業は講義中心ではなく、グループワークを通じて自分の持ち味（強み・知識・能力など）に気付き発揮し伸ばしていくことを目的とします。そのプロセスでコミュニケーション能力や書いて伝える・書いて伝える表現力も身に付くでしょう。自分の考えを発信することの大切さを感じてほしいです。</p> <p>授業では製造業（メーカー）での人事部門と出版社での実務経験を活かし、情報収集・インタビュー・取材・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。</p>			

到達目標			
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の5点を到達目標とします。</p> <p>①社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。 ②行動することを大事にし、ビジネスや様々な現場に行き調べる。 ③自分の意見を根拠を明確に積極的に発信する。 ④他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。 ⑤自分なりの課題を見つけ、解決に向けて取り組む。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の目的と進め方を説明。 ・グループメンバーの相互理解。 ・ウォーミングアップグループワーク&自己紹介		
	次週への課題への取り組み。	60	
第2回	社会環境と社会に求められる「力」 ・ビジネスを取り巻く環境を知る。 ・ヒット商品のキーワードを理解する。 ・サービスの進化を知る。		
	授業の振り返りとキーワードを更に調べる。次週課題への取り組み。	60	
第3回	グループワーク I (調査) -① ・グループを作り、テーマを決める。 ・チームビルディングを意識して話し合いをする。		
	次週課題を調べる。	90	

第4回	グループワーク I (調査) -② ・調べた結果や情報を共有化する。 ・話し合いをする。 ・次週に向けて役割を決める。	
	次週課題への取り組み。現場調査に行く。	120
第5回	グループワーク I (調査) -③ ・調査結果の報告と情報の共有化をする。 ・話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けての準備をする。 ・次週への役割と課題を確認する。	
	プレゼンテーション資料の作成と準備をする。	120
第6回	プレゼンテーション I -① ・プレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第7回	プレゼンテーション I -② ・プレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第8回	プレゼンテーション・グループワークとは ・プレゼンテーションを振り返る。 ・グループへの評価をフィードバックをする。 ・プレゼンテーションの基本を理解する。	
	優勝チームの発表 & 各チームへのフィードバック。グループワークの振り返り。 次のグループワークへの準備をする。	60
第9回	グループワーク II (新しいビジネスを考える) -① ・前回のグループワークを参考にアイデアを出す。	
	役割を理解し、課題に取り組む。	90

第10回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-② ・調べたことをもとに話し合いをする。 ・アイデアを出し合う。 ・次週までの役割分担をする。	
	役割を理解し、現地踏査をする。	120
第11回	グループワークⅡ（新しいビジネスを考える）-③ ・調べたことをもとに話し合う。 ・情報の共有化をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。	
	プレゼンテーション資料の作成をする。プレゼンテーションの準備をする。	120
第12回	プレゼンテーションⅡ-① ・グループワークの結果をプレゼンテーションする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。	
	プレゼンテーションの振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第13回	プレゼンテーションⅡ-② ・グループワークの結果をプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。	
	プレゼンテーションを振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第14回	授業のまとめ-世界の中の日本・日本の中の世界 ・世界で認められている日本の文化を映像で観る。 ・起業とは何かを理解する	
	授業を振り返り、課題を明確にし、広い視野で行動計画をたてる。 次週の個人プレゼンテーションへ向けてテーマを探す。	90
第15回	個人プレゼンテーション ・各個人のプレゼンテーション ・他者のプレゼンテーションから学ぶ	
	テーマを決めて伝えたいことをプレゼンする。	120

授業の方法

グループで自由にテーマを設定し、調査や情報収集をしながらグループワークを実施します。グループ内で積極的に意見交換をしながら進めていきます。そのプロセスでコミュニケーション能力が身に付き、社会や企業に関する知識も増えていきます。グループワークの成果はプレゼンテーションという形で実施します。2回行いますので、違うテーマ（調査する・新しいビジネスを興す）で取り組み、社会やビジネスへの理解を更に深めていくことが可能です。

授業以外でも現場を訪れて自分の目で確かめたり、好奇心旺盛に行動することが楽しくなっていくと思います。授業全体を通して、表現方法やマナーなども身につけることができるように、その都度気付いたことなどをフィードバックしていきます。楽しく、興味深く、積極的に取り組みましょう。

授業はあくまでも学生の皆さんが主体ですが、グループワークのプロセスではグループ毎に質問を受け付けたり調査方法やインタビューの仕方などについてアドバイスをします。

社会を理解し、職業選択に活かすきっかけにもしてください。

他の「キャリアセミナー」と一部内容が違いますので、確認してください。

成績評価の方法

コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50％
課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50％
ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①グループワークへの取り組みと協力。
- ②授業中の提出物への内容。
- ③プレゼンテーションへの取り組みと成果。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、新聞を読んだりニュースを見たり、社会に関心を持ってください。

テキスト

テキストは使用しませんが、必要に応じて資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアセミナー <9>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要			
<p>この授業のテーマは「現代社会」を知り「自分のこれからを考える」です。自分の中には様々な可能性があります。その可能性は人と関わったり、様々なことに興味を持ったりすることで広がって行きます。我々を取り巻く社会を知りこれからの社会がどのようなようになっていくのかを予測します。そこには社会と密接に関わりながら働く場があり、また自分を活かす場があるということを知ることでしょう。これは卒業後の進路を考える上で大切なことです。</p> <p>授業は講義中心ではなく、グループワークを通じて自分の持ち味（強み・知識・能力など）に気付き発揮し伸ばしていくことを目的とします。そのプロセスでコミュニケーション能力や書いて伝える・書いて伝える表現力も身に付くでしょう。自分の考えを発信することの大切さを感じてほしいです。</p> <p>授業では製造業（メーカー）での人事部門と出版社での実務経験を活かし、情報収集・インタビュー・取材・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。</p>			

到達目標			
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下の5点を到達目標とします。</p> <p>①社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。 ②行動することを大事にし、ビジネスや様々な現場に行き調べる。 ③自分の意見を根拠を明確に積極的に発信する。 ④他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。 ⑤自分なりの課題を見つけ、解決に向けて取り組む。</p>			

授業の計画と準備学修			
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)	
	準備学修(予習・復習等)		
第1回	ガイダンス ・授業の目的と進め方を説明。 ・グループメンバーの相互理解。 ・ウォーミングアップグループワーク&自己紹介		
	次週への課題への取り組み。	60	
第2回	社会環境と社会に求められる「力」 ・ビジネスを取り巻く環境を知る。 ・ヒット商品のキーワードを理解する。 ・サービスの進化を知る。		
	授業の振り返りとキーワードを更に調べる。次週課題への取り組み。	60	
第3回	グループワーク I (調査) -① ・グループを作り、テーマを決める。 ・チームビルディングを意識して話し合いをする。		
	次週課題を調べる。	90	

第4回	グループワークⅠ（調査）-② ・調べた結果や情報を共有化する。 ・話し合いをする。 ・次週に向けて役割を決める。	
	次週課題への取り組み。現場調査に行く。	120
第5回	グループワークⅠ（調査）-③ ・調査結果の報告と情報の共有化をする。 ・話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けての準備をする。 ・次週への役割と課題を確認する。	
	プレゼンテーション資料の作成と準備をする。	120
第6回	プレゼンテーションⅠ-① ・プレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第7回	プレゼンテーションⅠ-② ・プレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。	
	プレゼンテーションを振り返り、良かった点と課題を明確にする。	90
第8回	プレゼンテーション・グループワークとは ・プレゼンテーションを振り返る。 ・グループへの評価をフィードバックをする。 ・プレゼンテーションの基本を理解する。	
	優勝チームの発表＆各チームへのフィードバック。グループワークの振り返り。 次のグループワークへの準備をする。	60
第9回	グループワークⅡ（課題解決に取り組む）-① ・前回のグループワークを参考にアイデアを出す。	
	役割を理解し、課題に取り組む。	90

第10回	グループワークⅡ（課題解決に取り組む）-② <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合いをする。 ・アイデアを出し合う。 ・次週までの役割分担をする。 	
	役割を理解し、現地踏査をする。	120
第11回	グループワークⅡ（課題解決に取り組む）-③ <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことをもとに話し合う。 ・情報の共有化をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。 	
	プレゼンテーション資料の作成をする。プレゼンテーションの準備をする。	120
第12回	プレゼンテーションⅡ-① <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションの振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第13回	プレゼンテーションⅡ-② <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークの結果をプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションを評価する。 	
	プレゼンテーションを振り返り、指摘された課題に取り組む。	60
第14回	授業のまとめ-世界の中の日本・日本の中の世界 <ul style="list-style-type: none"> ・世界で認められている日本の文化を映像で観る。 ・課題解決とは何かを理解する 	
	授業を振り返り、課題を明確にし、広い視野で行動計画をたてる。 次週の個人プレゼンテーションへ向けてテーマを探す。	90
第15回	個人プレゼンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・各個人のプレゼンテーション ・他者のプレゼンテーションから学ぶ 	
	テーマを決めて伝えたいことをプレゼンする。	120

授業の方法

グループで自由にテーマを設定し、調査や情報収集をしながらグループワークを実施します。グループ内で積極的に意見交換をしながら進めていきます。そのプロセスでコミュニケーション能力が身に付き、社会や企業に関する知識も増えていきます。グループワークの成果はプレゼンテーションという形で実施します。2回行いますので、違うテーマ（調査する・課題解決をする）で取り組み、社会やビジネスへの理解を更に深めていくことが可能です。

授業以外でも現場を訪れて自分の目で確かめたり、好奇心旺盛に行動することが楽しくなっていくと思います。授業全体を通して、表現方法やマナーなども身につけることができるように、その都度気付いたことなどをフィードバックしていきます。楽しく、興味深く、積極的に取り組みましょう。

授業はあくまでも学生の皆さんが主体ですが、グループワークのプロセスではグループ毎に質問を受け付けたり調査方法やインタビューの仕方などについてアドバイスをします。後半は企業から課題を与えていただき解決に向けて取り組む予定。

社会を理解し、職業選択に活かすきっかけにもしてください。

他の「キャリアセミナー」と内容が少し違いますので注意してください。

成績評価の方法

コミュニケーション・カードなどを参考にし、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%

課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%

ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①グループワークへの取り組みと協力。
- ②授業中の提出物への内容。
- ③プレゼンテーションへの取り組みと成果。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、新聞を読んだりニュースを見たり、社会に関心を持ってください。

テキスト

テキストは使用しませんが、必要に応じて資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	キャリアセミナー <10>		
教員名	丸尾 明美		
科目ナンバー	1201445010	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

この授業のテーマは「社会と自分を知り、自分のキャリアを考える」です。将来どうなりたいのか？を考えるためには、まず自分が将来生きていく世の中のことを知る必要があります。また、その世の中のどこでどのように生きていくのが良いのかを知るためには、自分の特性を知る必要があります。

この授業では毎回グループワークを通じて、「社会についての知識」を主体的に調べ、考え、それを人に伝えることを行います。その活動の中で、社会に対する理解を深め、人との協働の中から自分の特性を知り、自分の将来のキャリアを考えていきます。同時に、グループワーク、個人ワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを繰り返し行うことで、社会で必要とされる「社会人基礎力」「情報収集力」「対人対応力」「プレゼンテーション能力」「レポート作成力」を高めていきます。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、DP3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の3点を到達目標とします。

1. 社会、企業、職業についての知識が増え、理解が深まること
2. 自らの将来のキャリアイメージ、およびそこへ向かう計画が描けるようになること
3. 社会で通用する実践的な対人スキル（社会人基礎力、コミュニケーション能力）が向上すること

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業オリエンテーション（授業の目的と進め方） チームビルディング／グループワークの進め方 今、社会で求められる人材とは？	
	【復習】授業で学んだことに関連する実際のニュースなど社会の情報を調べ、理解を深める。	60分
第2回	社会を知る① 経済の面から社会・企業を理解する 株式学習ゲーム（1）ゲームの説明	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	60分
第3回	社会を知る② 株式学習ゲーム（2） グループディスカッションで投資先を探す	
	【予習】授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。	60分

第4回	<p>社会を知る③ 株式学習ゲーム（3） グループでプレゼンテーションの準備を進める</p>	
	<p>【予習】 授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】 次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。</p>	90分
第5回	<p>社会を知る④ 株式学習ゲーム（4） 投資先についてのグループプレゼンテーション</p>	
	<p>【予習】 授業内で行うグループワークの準備をグループで行ってくる。 【復習】 授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める</p>	90分
第6回	<p>社会を知る⑤ 株式投資ゲーム（5） プレゼンテーションの振り返り 社会・企業の動きや実態を理解する</p>	
	<p>【予習】 授業内で行うグループプレゼンテーションの準備をグループで行ってくる。 【復習】 授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める</p>	90分
第7回	<p>仕事を知る① 仕事の「課題解決」とは何かを学ぶ 課題解決の手法を学ぶ グループディスカッションで取組む課題を考える</p>	
	<p>【復習】 授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。</p>	60分
第8回	<p>仕事を知る② 課題解決プロジェクト（1） グループで課題解決のディスカッション</p>	
	<p>【予習】 授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。【復習】 次回の授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。</p>	60分
第9回	<p>仕事を知る③ 課題解決プロジェクト（2） グループでプレゼンテーション準備</p>	
	<p>【予習】 授業内でグループワークを行うために必要な情報を調べてくる。 【復習】 次回の授業でプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行う。</p>	90分

第10回	仕事を知る④ 課題解決プロジェクト（3） 課題解決プロジェクトプレゼンテーション（前半）	
	【予習】授業内で行うグループワークの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだ資料に基づき、関連するニュースや情報を自ら調べ、理解を深める。	90分
第11回	仕事を知る⑤ 課題解決プロジェクト（4） 課題解決プロジェクトプレゼンテーション（後半）	
	【予習】授業内で行うグループプレゼンテーションの準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	90分
第12回	仕事を知る⑥ 課題解決プロジェクト（5） 課題解決プロジェクトの振り返り 仕事と学びの接点を知る	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、情報を調べる。	60分
第13回	キャリアデザイン上の自分の課題を考える 計画力、行動力を上げる方法を学ぶ	
	【復習】授業で配布された資料に基づき、自分自身の行動計画を立てる。（第15回授業で発表）	90分
第14回	社会を知る⑥ 株式投資ゲーム（6）結果発表 投資結果のグループプレゼンテーション	
	【予習】授業内でグループプレゼンテーションを行うために必要な準備をグループで行ってくる。 【復習】授業で学んだことに関連する情報を調べるなど、さらに知識を深める	90分
第15回	総まとめ 行動計画のプレゼンテーション これまで学んできたことの総復習	
	【予習】第13回で学んだことを基に、自己の計画案を作り上げ、個人でプレゼンテーションの準備をし てくる。 【復習】授業で発表した行動計画について見直しを行い、自分でより完成度を高める。	60分

授業の方法

参加型授業です。個人またはグループごとに、情報を調べたり、それを使ってワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを繰り返し行います。最初は苦手という人でも、休まずに毎回授業に出席し、授業で行う課題にしっかり取り組んでいけば、人前で発表したり、相手の意見に対して即座に自分の意見を述べたり、論理的に物事を考え、伝える力などが「必ず」鍛えられ、自信がつきます。毎回休まず出席してください。

成績評価の方法

- 1) コミュニケーション・カードなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%
 - 2) 課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%
- ゼミ形式でグループワーク中心の授業のために全時間出席することが望ましい。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。ただし病気や入院等の特別な事情で欠席した場合には考慮するので、申し出てください。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠します。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特に必要な予備知識、先修科目はありません。

テキスト

テキストは使用しません。授業内で資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	キャリア発展講義（仕事とジェンダー）		
教員名	藤田 純子		
科目ナンバー	1101445030	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

人はどのように働けばよいのでしょうか。社会は、職場や家庭などにおける人と人との関係で成り立っているのです。人には女性と男性があり、その性差が、社会関係の仕組みや内容に影響を与えています。授業では、このような「ジェンダー」の視点から「仕事を行う」ことに焦点を当て、現状と課題を分析し、「社会とは」、「企業社会」、「女性、男性がともに活躍する社会」等を考察します。仕事を通して能力を発揮し、キャリアを形成するために「仕事とジェンダー」について勉強していきたいと思います。

到達目標

ジェンダーの意味することを理解し、学生のみなさんが自分のキャリアに真剣に向き合いながら、キャリアをどのように構築するのか、という方向性を身につけます。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	イントロダクション ① 授業の進め方 ② 「職業人レポート」調査について	
	(予習) シラバスを読み、あらかじめ講義内容を把握する。	30分
第2回	「すべての女性、男性が活躍できる社会」とは	
	(予習・復習) 進路・キャリア計画シートを作成する。	60分
第3回	女性の低い政治参画 「政治分野の男女共同参画推進法」の背景	
	(予習・復習) 新聞を読んだり、報道番組を視聴する。	60分

第4回	アンペイド・ワークと専業主婦	
	(予習・復習) 新聞記事を用いたキャリア探索を行う。	60分
第5回	特別講義 * ゲスト・スピーカーによるキャリアとジェンダーについての講義を予定	
	(予習・復習) ゲスト・スピーカーのメッセージを振り返ってみる。	60分
第6回	家族の実態と少子化、晩婚化とキャリア	
	(予習・復習) 新聞記事を用いたキャリア探索を行う。	60分
第7回	性役割とキャリア	
	(予習・復習) 新聞記事を読んだり、報道番組を視聴する。	60分
第8回	日本型雇用のゆらぎと雇用の多様化	
	(予習・復習) 新聞を読んだり、報道番組を視聴する。	60分
第9回	男女雇用機会均等法における法整備 均等法の第三ステージ	
	(予習・復習) 新聞を読んだり、報道番組を視聴する。	60分

第10回	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和) ① 少子化との関連 ② 個人の自己実現、家庭生活の安定化 ③ 長時間労働の是正など、働き方改革	
	(予習・復習) 新聞を読んだり、報道番組を視聴する。	60分
第11回	ワーク・ライフ・バランス ④ 保育所・学童保育などの保育政策、育児介護 休業制度	
	(予習・復習) 課題のアウトラインを作成する。	60分
第12回	ニュー・エコノミーの進展とジェンダー	
	(予習・復習) 課題のアウトラインを作成する。	60分
第13回	男女共同参画社会の形成 女性・若者・高齢者の活躍推進	
	(予習) プレゼンテーションに向けた準備をしておく。	60分
第14回	「職業人レポート」の発表	
	(予習) プレゼンテーションに向けた準備をする。	60分
第15回	キャリア展開の課題と展望 授業のまとめ	
	この授業を振り返り、到達目標と理解度を点検する。	60分

授業の方法

配布プリントをもとに講義を進めます。講義以外に身近にいる職業人にインタビュー調査を行い、「職業人レポート」の取材・発表をします。

成績評価の方法

授業への積極的な参加状況および課題の提出状況30%、発表10%、期末レポート60%を総合的に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特になし

テキスト

必要な資料は授業中に配布します。

参考書

授業中に提示をします。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受けつける。

科目名	キャリア発展講義（グローバルキャリアセミナー）		
教員名	丸尾 明美		
科目ナンバー	1201445050	単位数	2
配当年次	2	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>この授業のテーマは「グローバル環境で働くとはどのようなことか」を学ぶことです。長年、外資系企業に勤務し、グローバルな環境で働いた実務経験を持つ教員が、グローバル環境で働くとはどのようなことなのかを解説します。また、グローバル環境で働く現役のゲスト講師を招き、様々な企業・組織、そこでの仕事のお話を伺いながら理解を深めます。</p> <p>また、将来、グローバル環境で働くことに興味を持っている人が、どのようなキャリアの選択肢があるのかその視野を広げ、自分の将来像を描いたり、そのために必要なことを学び、大学生活で自己成長するための行動計画を考えていきます。</p> <p>このセミナーでは、グループワークを通じて情報収集や情報共有を行い、知識を増やしたり、情報収集力、情報分析力を高めます。また、グローバル環境で必ず求められる思考力、コミュニケーション力をディスカッションやプレゼンテーションなどのワークを通じて高めていきます。</p>	

到達目標	
<p>DP 2（課題の発見と解決）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するために、以下の3点を到達目標とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 海外への興味や海外経験、また語学力を活かしてどのような職業選択があるのかを幅広く理解する。 2. グローバルな環境で働きたい場合、どのような能力を伸ばす必要があるのか、どのような準備をすれば良いのか理解する。 3. グローバル環境で実際に働く社会人と可能な限り多く接する機会を持ち、職場や働く現状について学ぶ。また学外の社会人と接することで、コミュニケーション力を高める。 	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業オリエンテーション（授業の目的、進め方） グローバルとはどのようなことか？ グローバル化と職業選択	
	【復習】授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第2回	グローバル環境で働くとは？（1） さまざまなグローバル企業、組織について	
	【復習】授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第3回	グローバル環境で働くとは？（2） さまざまな職業の種類と仕事の内容	
	【予習】前回の授業で学んだことを元に、予習課題をやってくる。 【復習】授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分

第4回	グローバル環境で働く人の話を聴く①	
	【予習】 ゲスト講師の会社・組織の概要について調べてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第5回	グローバル環境で働く人の話を聴く②	
	【予習】 ゲスト講師の会社・組織の概要について調べてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第6回	グローバル環境で働く人の話を聴く③	
	【予習】 ゲスト講師の会社・組織の概要について調べてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第7回	グローバル環境で働く人の話を聴く④	
	【予習】 ゲスト講師の会社・組織の概要について調べてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第8回	グローバル環境で働く人の話を聴く⑤	
	【予習】 ゲスト講師の会社・組織の概要について調べてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分
第9回	ゲスト講師から学んだことのまとめ グローバルコンピテンシーの伸ばし方	
	【予習】 これまでのゲスト講師の話の内容について、課題レポートを書いてくる。 【復習】 授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	60分

第10回	異文化マネジメントケーススタディ①基礎 ケーススタディの進め方 グループディスカッション	
	【復習】次週グループワークをするために、ケーススタディの内容に関連する情報を調べてくる。	90分
第11回	異文化マネジメントケーススタディ②実践 グループでの発表準備	
	【復習・予習】次週グループ発表をするために必要な準備を行う	90分
第12回	異文化マネジメントケーススタディ③発表 グローバル環境で働く上で大切なこととは	
	【予習】グループ発表のための準備を行う。 【復習】ケーススタディの内容に関連する情報や、実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	90分
第13回	自己の能力開発の方法 活動計画の立て方を学ぶ	
	【復習】第15回授業で発表する自分の能力開発のための行動計画をワークシートにまとめてくる。	60分
第14回	グローバルキャリアについてのプレゼンテーション	
	【予習】授業で行うプレゼンテーションの準備をしてくる。 【復習】授業で学んだことに関する実際のニュースや情報を調べ、理解を深める。	90分
第15回	今後の活動計画プレゼンテーション	
	【復習】これまでの授業全てを通じて学んだことを活かし、自分の進路のための情報収集を行う。	60分

授業の方法

参加型・講義型の混合授業です。参加型授業では、個人またはグループごとに、情報を調べたり、それを使ってワーク、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行います。講義型授業においても、授業前の情報収集の課題実施や、授業中の積極的な発言を求めます。

成績評価の方法

毎回の授業時に提出するコミュニケーションシートなどを参考にした、授業参加状況及び理解進捗度の評価＝50%
課題の提出、その内容、および最終レポートによる評価＝50%
ゼミ形式の授業のために毎回の出席が前提となります。欠席が多い場合には原則として評価は「F」となります。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特に必要な予備知識、先修科目はありません。

テキスト

テキストは使用しません。授業内で資料を配布します。

参考書

必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

授業終了後に教室で受け付けます。

科目名	ビジネストレーニングセミナー <1>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1001445000	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

他者と協力しながら目標を掲げ、それに向かってチームで成果を出すことを目的とした授業です。知識や情報を得てもそれを活かさなければ意味がありません。大学での学び方は様々な方法がありますが、この授業ではその知識や情報活かしコミュニケーション能力を身に付けながら目標に向けて進んでいきます。

チームで一緒に「考える力」と「協力する力」を身につけると共に、学ぶ楽しさを知ることをテーマとします。

実際に企業の担当者に来ていただき、企業や社会が抱える課題を与えていただき、「主体的な学び」を目的にコミュニケーションを強化しながらチームで課題解決に取り組みます。

授業では製造業（メーカー）と出版社での実務経験を活かし、課題への取り組み方・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。

到達目標

DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するために、以下の6点を到達目標とします。

- ① 社会の現実的な課題に触れ、社会で必要とされる視点や考察する力に気づき、その使い方と表現する力を学んで行く。
- ② 必要な力を身につけるために、大学で何をいかに学ぶか？と自ら考え、行動できることを目標とする。
- ③ 社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。
- ④ 行動することを大事にし、ビジネスの現場に行き調べる。
- ⑤ 根拠を明確にし積極的に発信する。
- ⑥ 他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業の目的・進め方 ・Projectに参加する心構えとルール説明 ・チーム編成	
	【復習】授業内容を復習するとともに、この授業における目標を明確にし自分の達成度を自己採点する。 ※以下全部の回で行う。	60
第2回	課題に取り組むために必要な知識と情報収集の方法を知る ・課題とは何か ・マーケティングとは ・チーム始動	
	【予習】レジュメを理解し、必要なワークを行う。 【復習】授業内容を復習するとともに、チームにおける自分の役割について考える。	60
第3回	第1回・企業からの課題提示 ・課題をしっかり理解する ・課題をチームで共有化する ・スケジュールを考える	
	【予習】企業から与えられた課題の共通理解をし企業に関する情報を収集し、企業に対する質問事項を洗い出す。 【復習】課題解決に向けてのチーム活動に取り組む。	90

第4回	提案に向けてチームでワークを行う①	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案に向けての準備をする。 必要に応じて現場に行く。	90
第5回	提案に向けてチームでワークを行う②	
	【予習】 チーム活動、提案へ向けて準備 【復習】 チーム内で進行具合を確認し、課題の再考、チームとしての活動方法の見直しなどを行う。	90
第6回	提案に向けてチームでワークを行う③	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案へ向けてプレゼンテーションの準備をする。	90
第7回	第1回・企業への提案（プレゼンテーション） ・企業担当者からの評価	
	【予習】 チーム活動、提案に向けての準備を行う。 【復習】 1企業目の評価および課題への取り組みに対し、自己を内省して自分の課題を洗い出すとともに、チーム内で振り返る。	90
第8回	第1回課題解決の取り組みに対する振り返り ・企業担当者からの講義 ・チームとしての振り返り ・個人の振り返り ・課題解決に必要なスキルと知識	
	【予習】 配布された資料・レジュメを一読する。 【復習】 企業からの解説やチームでの振り返り結果をもとに、改めて自己を内省して自分の課題（強みや弱み、得意・不得意など）を確認する。	90
第9回	第2回課題解決に向けての準備 ・社会やビジネスの変化を理解する ・チーム編成&始動	
	【予習】 配布資料・レジュメの該当部分を読み、必要なワークを行う。 【復習】 授業内容を復習するとともに、チームにおける自分の役割について考える。	90

第10回	第2回・企業からの課題提示 ・課題をしっかり理解する ・課題をチームで共有化する ・スケジュールを考える	
	【予習】企業から与えられた課題の共通理解をし企業に関する情報を収集し、企業に対する質問事項を洗い出す。 【復習】課題解決に向けてのチーム活動に取り組む。	90
第11回	提案に向けてチームでワークを行う①	
	【予習・復習】チームで必要なワークを行い、提案に向けての準備をする。 必要に応じて現場に行く	90
第12回	提案に向けてチームでワークを行う②	
	【予習】チーム活動、提案へ向けて準備をする。 【復習】チーム内で進行具合を確認し、課題の再考、チームとしての活動方法の見直しなどを行う。	90
第13回	提案に向けてチームでワークを行う③	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案へ向けてプレゼンテーションの準備を行う。	90
第14回	第2回・企業への提案（プレゼンテーション） ・企業担当者からの評価	
	【予習】チーム活動、提案に向けての準備をする。 【復習】2企業目の評価および課題への取り組みに対し、自己を内省して自分の課題を洗い出すとともに、チーム内で振り返る。	90
第15回	全体の振り返り ・企業担当者からの講義 ・チームとしての振り返り ・個人の振り返り ・これからの学びについて考える	
	【復習】企業からの解説やこの授業全体での学びを振り返り、自分の課題（強み・弱み、得意・不得意など）は何か、授業で学んだことは何で、それをどう生かすかをふまえ、自分に足りない能力や知識を残りの大学生活でどのように修得していくか、を考えながら、今後の学修計画・活動計画を作成する。	90

授業の方法

この授業では、プレ・タームのフレッシュャーズ講座で学んだ自己の振り返りと表現力を活かして、2企業の協力を得て、それぞれの企業から異なる課題を提示していただき、チームで課題解決に向けて取り組みます。
企業の担当者から課題を提示されたら、その企業の社員の一人としてチームメンバーで協力して課題解決を目指します。その際に、必要な情報を収集・分析し考え自分の意見を他のメンバーに発信していき相手の意見を引き出し理解するといった、「周囲とのコミュニケーション」を徹底して行うことで、チームとしての活動を活発化しチーム作りをしていきます。
企業への1次提案と最終提案では、チームで考え抜いた課題解決策を企業担当者に提示し、企業からのフィードバック（意見や課題の指摘など）をふまえて自分自身と自らのチームの取り組みを振り返ります。
チームは前半の企業と後半の企業と編成を変えます。
定員は1年生のみ36名です。1チーム6名編成で学部を越えて協力します。前期授業の期間中（6月下旬～7月上旬の予定）にガイダンスを実施し、志願票提出のうえ、履修者を決定します。なお、志願者が定員を超える場合には、選考を行います。

成績評価の方法

授業への取り組み（20%）
チームの一員としてのワークへの取り組みと貢献（40%）
プレゼンテーションの内容（20%）
提出課題（20%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フレッシュャーズ講座で学んだ「ロジカルライティング」
情報基礎で学んだ「Microsoft Powerpoint」
※情報基盤科目の「情報活用F（チームワーキングスキル）」との同時履修は避けた方が望ましい。

テキスト

決まったテキストはありませんが、授業全体を通して使用するワークシートや資料は授業の初回に、その他毎回必要に応じて資料・レジュメを配布します。

参考書

必要に応じて授業中に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	ビジネストレーニングセミナー <2>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1001445000	単位数	2
配当年次	1	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

他者と協力しながら目標を掲げ、それに向かってチームで成果を出すことを目的とした授業です。知識や情報を得てもそれを活かさなければ意味がありません。大学での学び方は様々な方法がありますが、この授業ではその知識や情報活かしコミュニケーション能力を身に付けながら目標に向けて進んでいきます。

チームで一緒に「考える力」と「協力する力」を身につけると共に、学ぶ楽しさを知ることをテーマとします。

実際に企業の担当者に来ていただき、企業や社会が抱える課題を与えていただき、「主体的な学び」を目的にコミュニケーションを強化しながらチームで課題解決に取り組みます。

授業では製造業（メーカー）と出版社での実務経験を活かし、課題への取り組み方・プレゼンテーションの仕方などについても講義します。

到達目標

DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 4（自発性、積極性）、DP 5（表現力、発信力）を実現するために、以下の6点を到達目標とします。

- ① 社会の現実的な課題に触れ、社会で必要とされる視点や考察する力に気づき、その使い方と表現する力を学んで行く。
- ② 必要な力を身につけるために、大学で何をいかに学ぶか？と自ら考え、行動できることを目標とする。
- ③ 社会に関心を持って、更に調べることの大切さを認識する。
- ④ 行動することを大事にし、ビジネスの現場に行き調べる。
- ⑤ 根拠を明確にし積極的に発信する。
- ⑥ 他者と協力して成果を出すことでコミュニケーション力をつける。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	授業の目的・進め方 ・Projectに参加する心構えとルール説明 ・チーム編成	
	【復習】授業内容を復習するとともに、この授業における目標を明確にし自分の達成度を自己採点する。 ※以下全部の回で行う。	60
第2回	課題に取り組むために必要な知識と情報収集の方法を知る ・課題とは何か ・マーケティングとは ・チーム始動	
	【予習】レジュメを理解し、必要なワークを行う。 【復習】授業内容を復習するとともに、チームにおける自分の役割について考える。	60
第3回	第1回・企業からの課題提示 ・課題をしっかり理解する ・課題をチームで共有化する ・スケジュールを考える	
	【予習】企業から与えられた課題の共通理解をし企業に関する情報を収集し、企業に対する質問事項を洗い出す。 【復習】課題解決に向けてのチーム活動に取り組む。	90

第4回	提案に向けてチームでワークを行う①	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案に向けての準備をする。 必要に応じて現場に行く。	90
第5回	提案に向けてチームでワークを行う②	
	【予習】 チーム活動、提案へ向けて準備 【復習】 チーム内で進行具合を確認し、課題の再考、チームとしての活動方法の見直しなどを行う。	90
第6回	提案に向けてチームでワークを行う③	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案へ向けてプレゼンテーションの準備をする。	90
第7回	第1回・企業への提案（プレゼンテーション） ・企業担当者からの評価	
	【予習】 チーム活動、提案に向けての準備を行う。 【復習】 1企業目の評価および課題への取り組みに対し、自己を内省して自分の課題を洗い出すとともに、チーム内で振り返る。	90
第8回	第1回課題解決の取り組みに対する振り返り ・企業担当者からの講義 ・チームとしての振り返り ・個人の振り返り ・課題解決に必要なスキルと知識	
	【予習】 配布された資料・レジュメを一読する。 【復習】 企業からの解説やチームでの振り返り結果をもとに、改めて自己を内省して自分の課題（強みや弱み、得意・不得意など）を確認する。	90
第9回	第2回課題解決に向けての準備 ・社会やビジネスの変化を理解する ・チーム編成&始動	
	【予習】 配布資料・レジュメの該当部分を読み、必要なワークを行う。 【復習】 授業内容を復習するとともに、チームにおける自分の役割について考える。	90

第10回	第2回・企業からの課題提示 ・課題をしっかり理解する ・課題をチームで共有化する ・スケジュールを考える	
	【予習】企業から与えられた課題の共通理解をし企業に関する情報を収集し、企業に対する質問事項を洗い出す。 【復習】課題解決に向けてのチーム活動に取り組む。	90
第11回	提案に向けてチームでワークを行う①	
	【予習・復習】チームで必要なワークを行い、提案に向けての準備をする。 必要に応じて現場に行く	90
第12回	提案に向けてチームでワークを行う②	
	【予習】チーム活動、提案へ向けて準備をする。 【復習】チーム内で進行具合を確認し、課題の再考、チームとしての活動方法の見直しなどを行う。	90
第13回	提案に向けてチームでワークを行う③	
	【予習・復習】 チームで必要なワークを行い、提案へ向けてプレゼンテーションの準備を行う。	90
第14回	第2回・企業への提案（プレゼンテーション） ・企業担当者からの評価	
	【予習】チーム活動、提案に向けての準備をする。 【復習】2企業目の評価および課題への取り組みに対し、自己を内省して自分の課題を洗い出すとともに、チーム内で振り返る。	90
第15回	全体の振り返り ・企業担当者からの講義 ・チームとしての振り返り ・個人の振り返り ・これからの学びについて考える	
	【復習】企業からの解説やこの授業全体での学びを振り返り、自分の課題（強み・弱み、得意・不得意など）は何か、授業で学んだことは何で、それをどう生かすかをふまえ、自分に足りない能力や知識を残りの大学生活でどのように修得していくか、を考えながら、今後の学修計画・活動計画を作成する。	90

授業の方法

この授業では、プレ・タームのフレッシュャーズ講座で学んだ自己の振り返りと表現力を活かして、2企業の協力を得て、それぞれの企業から異なる課題を提示していただき、チームで課題解決に向けて取り組みます。
企業の担当者から課題を提示されたら、その企業の社員の一人としてチームメンバーで協力して課題解決を目指します。その際に、必要な情報を収集・分析し考え自分の意見を他のメンバーに発信していき相手の意見を引き出し理解するといった、「周囲とのコミュニケーション」を徹底して行うことで、チームとしての活動を活発化しチーム作りをしていきます。
企業への1次提案と最終提案では、チームで考え抜いた課題解決策を企業担当者に提示し、企業からのフィードバック（意見や課題の指摘など）をふまえて自分自身と自らのチームの取り組みを振り返ります。
チームは前半の企業と後半の企業と編成を変えます。
定員は1年生のみ36名です。1チーム6名編成で学部を越えて協力します。前期授業の期間中（6月下旬～7月上旬の予定）にガイダンスを実施し、志願票提出のうえ、履修者を決定します。なお、志願者が定員を超える場合には、選考を行います。

成績評価の方法

授業への取り組み（20%）
チームの一員としてのワークへの取り組みと貢献（40%）
プレゼンテーションの内容（20%）
提出課題（20%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

フレッシュャーズ講座で学んだ「ロジカルライティング」
情報基礎で学んだ「Microsoft Powerpoint」
※情報基盤科目の「情報活用F（チームワーキングスキル）」との同時履修は避けた方が望ましい。

テキスト

決まったテキストはありませんが、授業全体を通して使用するワークシートや資料は授業の初回に、その他毎回必要に応じて資料・レジュメを配布します。

参考書

必要に応じて授業中に紹介します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	日本企業の現状と展望		
教員名	河路 武志、北川 浩		
科目ナンバー	1101445070	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

テーマ：「業界や企業の現状と展望」を知ることで自らの進路選択をリアルなものにする。
この講義は、民間企業への就職を志す学生のために、業界や企業に関する基礎知識を学び現状を理解すると同時に、将来的な展望を考察することによって、学生自らが自分自身の進路選択と結び付けていくための科目です。10社以上の企業から実務経験豊富な実務家講師を招へいして、業界や企業についての実態をお話しいただく講義が中心で、就職活動を間近に控えた3年生にとってとても有益なものになると思われます。3年生の段階で必要となる基礎知識を学ぶと同時に、業界研究や企業研究のための基本的な手法なども修得していきます。
※基本的には3年生の受講を想定した授業です。

到達目標

DP1（教養の修得）を実現するため、以下を到達目標とする。
・民間企業への就職を志す学生が、企業選びのために必要な基礎知識を持っている。
・民間企業に関する適切な情報収集を行うことができる。
・業界研究や企業研究の基礎的手法を用いて分析を行うことができる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	イントロダクション 講義の趣旨と概要、業界・企業研究の基本、などについて説明する。	
	授業の趣旨と概要についての復習	60分
第2回	業界・企業研究のポイント 業界・企業研究の基本的な手法について講義する。	
	企業研究の基本的な手法についての復習	90分
第3回	保険業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集	60分

第4回	銀行業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集	60分
第5回	不動産業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集	60分
第6回	輸送業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。 (第1回レポート課題提示)	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集 企業研究を実施し課題を整理する	120分
第7回	小売業界（商業不動産）の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習 企業研究を実施し課題を整理する	120分
第8回	産業構造を見る視点 基本的な産業構造と企業知名度の関係を講義する。 (第1回レポート課題講評)	
	産業構造に関する基本概念の復習 次回にとりあげる業界についての情報収集	60分
第9回	専門商社（食品流通）の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集	60分

第10回	印刷業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集	60分
第11回	機械製造業の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。 (第2回レポート課題提示)	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集 企業研究を実施し課題を整理する	120分
第12回	電機製造業の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集 企業研究を実施し課題を整理する	120分
第13回	物流業界の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。 (第3回レポート課題提示)	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習と次回にとりあげる業界についての情報収集 各自が授業での気づきを整理する	90分
第14回	情報システム・サービス業の現状と展望 実務家講師を招いて、業界全体の現状と展望、業務内容に関する講義・質疑応答を行う。	
	授業で取り上げた業界の現状と展望についての復習 これまでの各自が行った企業研究について振り返りを行い、課題を整理する	120分
第15回	企業研究と就職活動 就職活動のながれと業界・企業研究の意義について講義する。 (第2回レポート課題講評)	
	就職活動に向けた自分の行動計画を作成する。	120分

授業の方法

講義形式の授業です。
講義の内容や順番は招へいする企業・実務家講師の都合により変更になる場合があります。
開講時に、確定した内容・順番等をお知らせします。

成績評価の方法

3回のレポート課題（30pt. ×3）と、毎回の授業レビュー（感想・質問）（2pt. x15）の合計（120pt.）によって評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

到達目標の観点から、以下の2点の到達度を評価します。

- ・ 講義で学修した基本的な企業研究手法にもとづいて企業研究が行えるか
- ・ 独自の分析や洞察などが行えるか

必要な予備知識／先修科目／関連科目

日ごろから新聞やテレビのニュースに関心を持って接しておくことが大切です。

テキスト

テキストはとくに使用しません。

参考書

参考書などは必要に応じて授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知する。

科目名	インターンシップ準備講座 <1>		
教員名	鈴木 貴子		
科目ナンバー	1201445080	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

民間企業や公共機関などで夏期休業期間中にインターンシップを体験する準備のために必要な知識の習得や能力開発を行う授業です。授業では製造業（メーカー）の人事部門と出版社での実務経験を活かし、組織とは何か、組織で働くことに求められるものは何かなどについて講義します。

企業や行政機関の組織や働くことについて自分なりに理解し、インターンシップに自分なりの目的を持って積極的に臨むための準備をします。授業のプロセスで自分自身の理解を深め、社会や企業・組織などに対する様々な知識が増えます。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、P3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の6点を到達目標とします。

- ①社会と企業を知る。
- ②組織で働くことにおける役割や責任を知る。
- ③社会で必要とされるルールを理解し、マナーを身につけ実践できる。
- ④書いて伝える文章力の向上。
- ⑤話をして伝える表現力の向上。
- ⑥チームビルディング（メンバーとの信頼関係を築く）の必要性を理解する。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-インターンシップとは ・授業の目的と進め方を理解する。 ・授業に対して各自の目標を持つ。 ・体験することの目的を理解する。 ・現状を知り、どのような体験ができるのか理解する。	
	授業を振り返り、自分なりの目的を考える。 インターンシップ先企業・行政機関などの探し方を調べてみる	60
第2回	社会的環境とビジネスを取り巻く環境を理解する ・社会的環境の変化を理解する。 ・ビジネスを取り巻く環境がどのように変化しているのか理解する。	
	授業で学んだキーワードを振り返り、更に調べる。新聞を読んで気になるキーワードを調べる。	60
第3回	企業と組織 ・企業とは何かを理解する。 ・企業と行政機関の役割を理解する。 ・組織とは何かを理解する。 ・行政機関の役割との違い理解する。	
	授業の振り返りをし、理解できないキーワードを更に調べる。	60

第4回	業界&企業研究 <ul style="list-style-type: none"> ・業界研究と企業研究の仕方を理解する。 ・業態と業界の特徴を理解する。 ・業界の種類を知る。 	
	どのような業界があるのか、その業界にはどのような企業があるのか調べる	60
第5回	グループワーク I-① <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合いをする。 ・次週へ向けて役割を決める。 	
	自分の役割を理解して、次週へ向けて課題への取り組みをする。	90
第6回	グループワーク I-② <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果をもとに話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けて準備する。 	
	プレゼンテーション資料の作成と準備をする。	90
第7回	プレゼンテーション I-① <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。	60
第8回	プレゼンテーション I-② <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。	60
第9回	社会におけるプレゼンテーションとは <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの総評とグループへのフィードバック。 ・プレゼンテーションの意義を理解する。 ・インターンシップにおけるプレゼンテーションを理解する。 	
	授業をインターンシップに活かせるように準備する。課題（振り返りシート）を記入する。	60

第10回	<p>仕事の役割と責任・働く人を本気でインタビューしてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事とは何かを理解する。 ・組織における役割と責任を理解する。 ・組織におけるコミュニケーションを理解する。 ・働く人を本気でインタビューする。 	
	<p>インタビューをする人のリストアップと質問項目の準備。</p>	60
第11回	<p>グループワークⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果をもとに話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けて準備する。 	
	<p>プレゼンテーション資料の作成と準備をする。</p>	90
第12回	<p>プレゼンテーションⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	<p>・プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。</p>	60
第13回	<p>ビジネスコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場におけるコミュニケーションを理解する。 ・マナーと言葉遣いの重要性を理解する。 ・コミュニケーション手段を知る。 	
	<p>・実行できるコミュニケーション手段を考えて行動に移す。</p>	60
第14回	<p>インターンシップと就職活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要を理解する。 ・インターンシップでどのような体験をするのか考えてみる。 ・人事担当者との付き合い方を知る。 	
	<p>インターンシップで何を体験するのか準備をする。</p>	60
第15回	<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップへ向けて何を準備するのか理解する。 ・目的と具体的行動について考える。 	
	<p>授業を振り返り、疑問は更に調べたり、インターンシップへ向けて準備をする。</p>	60

授業の方法

授業では配布資料を基に講義をしますが、他に、グループディスカッション、グループワークなどをテーマに応じて行います。インターンシップ体験に向けて自主的に取り組めるように、調べたり考えたりしながらインターンシップへの期待やモチベーションを高めていきます。

インターンシップでは自分の意見や考えを発信することが求められるので、発言の場を多く設けます。

成績評価の方法

課題への提出物（40%）、グループワークへや授業への積極的な取り組み（60%）などで総合的に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①インターンシップを体験する目的が明確である。
- ②グループワークに協力的で自分の意見や考えを積極的に発信する。
- ③提出物に関してよく調べ根拠が明確である。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、インターンシップ先決定に関し、事前面接・実習選考があります。また、マナーに関する課外講座の授業は必須です。

テキスト

特定のテキストは使用しませんが、毎回レジュメ・資料を配布します。

参考書

必要に応じて、授業中に随時提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	インターンシップ準備講座 <2>		
教員名	鈴木 貴子		
科目ナンバー	1201445080	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 前期

テーマ・概要

民間企業や公共機関などで夏期休業期間中にインターンシップを体験する準備のために必要な知識の習得や能力開発を行う授業です。授業では製造業（メーカー）の人事部門と出版社での実務経験を活かし、組織とは何か、組織で働くことに求められるものは何かなどについて講義します。

企業や行政機関の組織や働くことについて自分なりに理解し、インターンシップに自分なりの目的を持って積極的に臨むための準備をします。授業のプロセスで自分自身の理解を深め、社会や企業・組織などに対する様々な知識が増えます。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、P3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の6点を到達目標とします。

- ①社会と企業を知る。
- ②組織で働くことにおける役割や責任を知る。
- ③社会で必要とされるルールを理解し、マナーを身につけ実践できる。
- ④書いて伝える文章力の向上。
- ⑤話をして伝える表現力の向上。
- ⑥チームビルディング（メンバーとの信頼関係を築く）の必要性を理解する。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス-インターンシップとは <ul style="list-style-type: none"> ・授業の目的と進め方を理解する。 ・授業に対して各自の目標を持つ。 ・体験することの目的を理解する。 ・現状を知り、どのような体験ができるのか理解する。 	
	授業を振り返り、自分なりの目的を考える。 インターンシップ先企業・行政機関などの探し方を調べてみる	60
第2回	社会的環境とビジネスを取り巻く環境を理解する <ul style="list-style-type: none"> ・社会的環境の変化を理解する。 ・ビジネスを取り巻く環境がどのように変化しているのか理解する。 	
	授業で学んだキーワードを振り返り、更に調べる。新聞を読んで気になるキーワードを調べる。	60
第3回	企業と組織 <ul style="list-style-type: none"> ・企業とは何かを理解する。 ・企業と行政機関の役割を理解する。 ・組織とは何かを理解する。 ・行政機関の役割との違い理解する。 	
	授業の振り返りをし、理解できないキーワードを更に調べる。	60

第4回	<p>業界&企業研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業界研究と企業研究の仕方を理解する。 ・業態と業界の特徴を理解する。 ・業界の種類を知る。 	
	<p>どのような業界があるのか、その業界にはどのような企業があるのか調べる</p>	60
第5回	<p>グループワーク I-①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合いをする。 ・次週へ向けて役割を決める。 	
	<p>自分の役割を理解して、次週へ向けて課題への取り組みをする。</p>	90
第6回	<p>グループワーク I-②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果をもとに話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けて準備する。 	
	<p>プレゼンテーション資料の作成と準備をする。</p>	90
第7回	<p>プレゼンテーション I-①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	<p>プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。</p>	60
第8回	<p>プレゼンテーション I-②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	<p>プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。</p>	60
第9回	<p>社会におけるプレゼンテーションとは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの総評とグループへのフィードバック。 ・プレゼンテーションの意義を理解する。 ・インターンシップにおけるプレゼンテーションを理解する。 	
	<p>授業をインターンシップに活かせるように準備する。課題（振り返りシート）を記入する。</p>	60

第10回	<p>仕事の役割と責任・働く人を本気でインタビューしてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事とは何かを理解する。 ・組織における役割と責任を理解する。 ・組織におけるコミュニケーションを理解する。 ・働く人を本気でインタビューする。 	
	<p>インタビューをする人のリストアップと質問項目の準備。</p>	60
第11回	<p>グループワークⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた結果をもとに話し合いをする。 ・プレゼンテーションに向けて準備する。 	
	<p>プレゼンテーション資料の作成と準備をする。</p>	90
第12回	<p>プレゼンテーションⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料をもとにプレゼンテーションする。 ・他のグループの評価をする。 	
	<p>・プレゼンテーションの振り返りをし、良かった点と改善点を認識する。</p>	60
第13回	<p>ビジネスコミュニケーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスの現場におけるコミュニケーションを理解する。 ・マナーと言葉遣いの重要性を理解する。 ・コミュニケーション手段を知る。 	
	<p>・実行できるコミュニケーション手段を考えて行動に移す。</p>	60
第14回	<p>インターンシップと就職活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の概要を理解する。 ・インターンシップでどのような体験をするのか考えてみる。 ・人事担当者との付き合い方を知る。 	
	<p>インターンシップで何を体験するのか準備をする。</p>	60
第15回	<p>総括</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップへ向けて何を準備するのか理解する。 ・目的と具体的行動について考える。 	
	<p>授業を振り返り、疑問は更に調べたり、インターンシップへ向けて準備をする。</p>	60

授業の方法

授業では配布資料を基に講義をしますが、他に、グループディスカッション、グループワークなどをテーマに応じて行います。インターンシップ体験に向けて自主的に取り組めるように、調べたり考えたりしながらインターンシップへの期待やモチベーションを高めていきます。

インターンシップでは自分の意見や考えを発信することが求められるので、発言の場を多く設けます。

成績評価の方法

課題への提出物（40%）、グループワークへや授業への積極的な取り組み（60%）などで総合的に評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

- ①インターンシップを体験する目的が明確である。
- ②グループワークに協力的で自分の意見や考えを積極的に発信する。
- ③提出物に関してよく調べ根拠が明確である。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

特にありませんが、インターンシップ先決定に関し、事前面接・実習選考があります。また、マナーに関する課外講座の授業は必須です。

テキスト

特定のテキストは使用しませんが、毎回レジュメ・資料を配布します。

参考書

必要に応じて、授業中に随時提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	インターンシップ実習 <1>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445090	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

民間企業や行政機関等で体験したインターンシップの内容や体験を整理・確認し、自分の進路選択や将来に役立てていくことをサポートすることを目的とする授業です。単にインターンシップを単位認定するための授業ではありません。体験を整理し、課題解決や職業選択などにつなげていきます。原則として前期の「インターンシップ準備講座」を受講し、実際にインターンシップ実習を行なった学生を対象とします。

自分の体験だけでなく他者の体験も今後の参考にして、今後の自分の職業選択の参考にしてください。

インターンシップの体験を総括するために、授業では製造業（メーカー）での人事部門や出版社での実務経験を活かし、職業選択や業界・企業研究の方法も解説します。

到達目標

DP2（課題の発見と解決）、P3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の3点を到達目標とします。

①インターンシップでの経験を整理する。
 ②インターンシップでの課題を認識し、今後へ向けての行動計画をたてる。
 ③職業選択に活かす。

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	インターンシップ実習1 ・実習先オリエンテーション。 ・実習先のルールと仕事を知る。 ・目標をたてる。	
	実習先のスケジュールを確認し、ルールを理解する。毎日すべきことを確認する。 実習ノートの記入。	90
第2回	インターンシップ実習2 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第3回	インターンシップ実習3 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90

第4回	インターンシップ実習 4 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。 ・実習後半に向けて到達目標を設定する。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。実習後半に向けて、到達目標を確認する。	90
第5回	インターンシップ実習 5 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第6回	インターンシップ実習 6 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第7回	インターンシップ実習 7 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第8回	インターンシップ実習 8 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。 ・体験を振り返る。	
	実習内容を振り返り、報告書をまとめる。	120
第9回	インターンシップ事後報告 ・実習の振り返りをする。 ・提出物や手続きを確認する。 ・インターンシップ相互報告と情報の共有化をする。	
	提出物や今後のスケジュールを確認し、提出物を準備する。	90

第10回	グループワークⅠ ・インターンシップの成果と課題について話し合う。 ・結果をプレゼンテーションする。	
	グループワークをもとに、興味のある業界や企業を調べる。	90
第11回	インターンシップを職業選択に活かす ・働くことを考えてみる。 ・体験を就職活動にどのように活かすのか考えてみる。 ・アピールの仕方を考えてみる。	
	授業を参考に、書類を作成する。	120
第12回	グループワークⅡ-① ・課題を明確にして共通理解をする。 ・グループ内で役割を決める。	
	テーマに沿って調べる。	90
第13回	グループワークⅡ-② ・調べたことをもとに情報の共有化をする。 ・企業研究をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。	
	プレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする。	120
第14回	プレゼンテーションⅡ ・資料をもとにプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションの評価をする。 ・グループワークを振り返る。	
	プレゼンテーションを振り返り、課題シートを作成する。	90
第15回	総括 ・社会で求められる能力とは何かを理解する。 ・多様性（ダイバシティ）の重要性を理解する。 ・実習を今後どのように繋げていくのか考える。 ・1分間スピーチ。	
	実習を振り返り、課題のエントリーシートを記入する。	120

授業の方法

インターンシップの実習を振り返り、実習後の学生個人やグループのプレゼンテーションとそれに関する補足講義を行ないます。グループワークを通して自分と他者のインターンシップの体験や情報の共有化をします。個人の就職活動へ向けて文章表現やプレゼンテーションスキルアップなども目指します。

インターンシップの実習期間は（第1回～第8回）の授業として考慮されるため、授業はシラバス通りに進んだ時点で終了します。

成績評価の方法

個人発表・グループワークおよびレポートの内容を評価の対象とします。個人面談を行なう場合もあります。

授業で提出するレポートはキャリア支援センターに提出する報告書とは異なるものですから、注意してください。

グループワークへの取り組みとそれに伴う提出物（30%）、授業への積極的参加（30%）、レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

① 提出物の内容。

② グループワークへの取り組みとプレゼンテーションの内容。

なお、単位認定の対象となる実習は以下の4点について担当教員が認めたものに限り、

① 実習内容が受入れ先の業務あるいは業務に準じているもの。

② 実習内容が就業経験に適したものであること。

③ 実習期間が原則5日間以上であること。または、担当教員がこれに準ずると認めること。

④ 実習期間は夏期休業期間中とする。原則、履修授業との重複は認めない。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

キャリア支援センター主催のビジネスマナーに関する課外講座の受講が必要になります。

テキスト

特にありません。必要に応じて資料・レジュメを配布します。

参考書

必要なものがあれば、授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	インターンシップ実習 <2>		
教員名	鈴木 賞子		
科目ナンバー	1201445090	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>民間企業や行政機関等で体験したインターンシップの内容や体験を整理・確認し、自分の進路選択や将来に役立てていくことをサポートすることを目的とする授業です。単にインターンシップを単位認定するための授業ではありません。体験を整理し、課題解決や職業選択などにつなげていきます。原則として前期の「インターンシップ準備講座」を受講し、実際にインターンシップ実習を行なった学生を対象とします。</p> <p>自分の体験だけでなく他者の体験も今後の参考にして、今後の自分の職業選択の参考にしてください。</p> <p>インターンシップの体験を総括するために、授業では製造業（メーカー）での人事部門や出版社での実務経験を活かし、職業選択や業界・企業研究の方法も解説します。</p>	

到達目標	
<p>DP2（課題の発見と解決）、P3（他者との協働）、DP4（自発性、積極性）、DP5（表現力、発信力）を実現するために、以下の3点を到達目標とします。</p> <p>①インターンシップでの経験を整理する。 ②インターンシップでの課題を認識し、今後へ向けての行動計画をたてる。 ③職業選択に活かす。</p>	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	インターンシップ実習1 ・実習先オリエンテーション。 ・実習先のルールと仕事を知る。 ・目標をたてる。	
	実習先のスケジュールを確認し、ルールを理解する。毎日すべきことを確認する。 実習ノートの記入。	90
第2回	インターンシップ実習2 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第3回	インターンシップ実習3 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90

第4回	インターンシップ実習 4 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。 ・実習後半に向けて到達目標を設定する。	
	業務を整理する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。実習後半に向けて、到達目標を確認する。	90
第5回	インターンシップ実習 5 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第6回	インターンシップ実習 6 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第7回	インターンシップ実習 7 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。	
	業務を確認する。一日を振り返り、実習ノートを作成する。	90
第8回	インターンシップ実習 8 ・仕事を体験する。 ・課題に取り組む。 ・体験を振り返る。	
	実習内容を振り返り、報告書をまとめる。	120
第9回	インターンシップ事後報告 ・実習の振り返りをする。 ・提出物や手続きを確認する。 ・インターンシップ相互報告と情報の共有化をする。	
	提出物や今後のスケジュールを確認し、提出物を準備する。	90

第10回	グループワークⅠ ・インターンシップの成果と課題について話し合う。 ・結果をプレゼンテーションする。	
	グループワークをもとに、興味のある業界や企業を調べる。	90
第11回	インターンシップを職業選択に活かす ・働くことを考えてみる。 ・体験を就職活動にどのように活かすのか考えてみる。 ・アピールの仕方を考えてみる。	
	授業を参考に、書類を作成する。	120
第12回	グループワークⅡ-① ・課題を明確にして共通理解をする。 ・グループ内で役割を決める。	
	テーマに沿って調べる。	90
第13回	グループワークⅡ-② ・調べたことをもとに情報の共有化をする。 ・企業研究をする。 ・プレゼンテーションに向けて準備をする。	
	プレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションの準備をする。	120
第14回	プレゼンテーションⅡ ・資料をもとにプレゼンテーションをする。 ・他のグループのプレゼンテーションの評価をする。 ・グループワークを振り返る。	
	プレゼンテーションを振り返り、課題シートを作成する。	90
第15回	総括 ・社会で求められる能力とは何かを理解する。 ・多様性（ダイバシティ）の重要性を理解する。 ・実習を今後どのように繋げていくのか考える。 ・1分間スピーチ。	
	実習を振り返り、課題のエントリーシートを記入する。	120

授業の方法

インターンシップの実習を振り返り、実習後の学生個人やグループのプレゼンテーションとそれに関する補足講義を行いません。グループワークを通して自分と他者のインターンシップの体験や情報の共有化をします。個人の就職活動へ向けて文章表現やプレゼンテーションスキルアップなども目指します。

インターンシップの実習期間は（第1回～第8回）の授業として考慮されるため、授業はシラバス通りに進んだ時点で終了します。

成績評価の方法

個人発表・グループワークおよびレポートの内容を評価の対象とします。個人面談を行なう場合もあります。

授業で提出するレポートはキャリア支援センターに提出する報告書とは異なるものですから、注意してください。

グループワークへの取り組みとそれに伴う提出物（30%）、授業への積極的参加（30%）、レポート（40%）で総合評価します。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

① 提出物の内容。

② グループワークへの取り組みとプレゼンテーションの内容。

なお、単位認定の対象となる実習は以下の4点について担当教員が認めたものに限り、

① 実習内容が受入れ先の業務あるいは業務に準じているもの。

② 実習内容が就業経験に適したものであること。

③ 実習期間が原則5日間以上であること。または、担当教員がこれに準ずると認めること。

④ 実習期間は夏期休業期間中とする。原則、履修授業との重複は認めない。

必要な予備知識／先修科目／関連科目

キャリア支援センター主催のビジネスマナーに関する課外講座の受講が必要になります。

テキスト

特にありません。必要に応じて資料・レジュメを配布します。

参考書

必要なものがあれば、授業中に提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知します。

科目名	インターンシップ実習 <3>		
教員名	河路 武志		
科目ナンバー	1201445090	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要	
<p>この授業は、三菱グループと成蹊学園に関係の深い企業を中心とした協力企業と成蹊大学との連携により実現した本格的な産学連携人材育成プログラムであり、実務経験が豊富な協力企業の実務家の指導の下インターンシップ実習に取り組むことで、自己のキャリア発展を目指します。</p> <p>次の3つの特徴を持っています。</p> <p>(1) 多業種・多職種の協力企業とのコラボレーション (2) 文理融合（経済学部・法学部・文学部・理工学部）のプロジェクト (3) 企業が実際に取り組む課題解決型プログラム</p> <p>学内準備研修、丸の内研修、インターンシップ実習を組み合わせ、7ヶ月にわたって学修します。</p>	

到達目標	
<p>DP 1（教養の修得）、DP 2（課題の発見と解決）、DP 3（他者との協働）、DP 5（表現力、発信力）を実現するため、以下を到達目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の個性や能力を自覚し、適した企業を選択することができる ・企業が持っている課題について、課題解決力やコミュニケーション力、プレゼンテーション力などを身に付けることができる ・企業活動を実践できる人材を目指すことができる 	

授業の計画と準備学修		
回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス、MBTについて、グループ分け、課題説明、課題についての討議、宿題	
	【予習】 企業研究や業界研究を行う 【復習】 授業の内容について、理解を深める	90
第2回	講義「考える力と方法について1」	
	【予習】 【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第3回	講義「チームビルディング」	
	【予習】 【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120

第4回	講義「考える力と方法について2」	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180
第5回	中間発表1：各班プレゼンテーション 10分	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第6回	講義「考える力と方法について3」	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第7回	課題についての進め方の討議1	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180
第8回	中間発表2：各班プレゼンテーション 15分	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第9回	課題についての進め方の討議2	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180

第10回	企業による指導 1	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180
第11回	企業による指導 2	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第12回	課題についての進め方の討議 3	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180
第13回	最終プレ発表 1	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	180
第14回	最終プレ発表 2	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120
第15回	丸の内研修に向けた準備	
	【予習】【復習】 企業テーマについてグループで討議を行う	120

授業の方法

ステップ1. 学内準備研修：課題解決力、コミュニケーション力、ビジネス・マナー等の学習と、企業から提供された課題解決に取り組む演習を行います。
ステップ2. 丸の内研修：丸の内の研修施設において、第一線で活躍する実務経験豊富な企業人から指導を受けます。学内準備研修で取り組んだ課題解決のプレゼンテーション・ディスカッションと、講演やワークショップによって企業の最先端を学びます。
ステップ3. インターンシップ実習：国内外の協力企業において、企業の現場で就業体験を実施します。
まとめ. 学内発表会・成果発表会：上記研修の成果を発表します。

成績評価の方法

インターンシップの実施(70%)＋成果発表・レポート(30%)
インターンシップ実習の積極的な実施、および実習成果に関する発表・レポートを評価の対象とします。
インターンシップ実習が正常に行えなかった場合または発表・レポートの提出がない場合はいずれも単位の認定を行いません。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。

到達目標の観点から、以下の3点の到達度を評価します。

- ・自身の個性や能力を自覚し、適した企業を選択できることができるか
- ・企業が持っている課題について、前向きに解決する問題解決力やコミュニケーション力、プレゼンテーション力などが身についたか
- ・企業活動を実践できる人材を目指す姿勢が備わっているか

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識はないが、あらかじめ企業研究や業界研究などを行っていることが望ましい。

テキスト

特定のテキストは使用しません。

参考書

必要な参考文献があればその都度提示します。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知する。

科目名	理工系インターンシップ実習 <1>		
教員名	門内 隆明		
科目ナンバー	1701445100	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

インターンシップは、民間企業または公的研究機関等の組織における業務を対象として体験し、それら組織の中での業務の位置付け、役割の大切さを実感する社会体験型の授業である。
自己開拓（選抜はしない）、大学キャリアセンター経由（キャリア支援センターと理工学部キャリア教育委員との協議の上選抜を行う）、学科・学部の紹介（学科担当教員が選抜する）などにより実習先を決め、実習申請書を作成、提出する。申請書を提出するためには原則としてガイダンスとインターンシップセミナーすべてに出席しなければならない。

到達目標

DP9(専門的な知識と実践)を得るために、以下の点を到達目標とする。
自らの体験を通して社会のニーズを実感することによって、大学卒業後の進路の決定に役立てることを目的とする。また、実習先の開拓、実習計画の作成、実習の実行、報告書の作成による自己評価といったステップを実践することにより、自主的にものごとを進めていく能力を身につける。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
	準備学修(予習・復習等)	
第1回	ガイダンス インターンシップについて、授業の進め方、心構え、申請方法、活動方法、報告、成績の評価などについて説明する。	
	復習	60
第2回	インターンシップセミナー1 インターンシップと社会での活動に対する心構え	
	復習	60
第3回	インターンシップセミナー2 社会での活動における周囲との接し方やマナー 報告書の書き方について	
	復習	60

第4回	外部実習1	
	実習先による	*
第5回	外部実習2	
	実習先による	*
第6回	外部実習3	
	実習先による	*
第7回	外部実習4	
	実習先による	*
第8回	外部実習5	
	実習先による	*
第9回	外部実習6	
	実習先による	*

第10回	外部実習7	
	実習先による	*
第11回	外部実習8	
	実習先による	*
第12回	外部実習9	
	実習先による	*
第13回	外部実習10	
	実習先による	*
第14回	外部実習11	
	実習先による	*
第15回	報告書作成・面接 実習が終わり次第、決められた様式にもとづいて報告書の作成を行う。なお、作成した報告書は実習先の承認を受ける必要がある。	
	復習	60

授業の方法

ガイダンス、セミナー、自己診断テスト等実習に向けて学内で準備されている講習には必ず出席すること。実習については自己開拓を基本とする。希望をしても実習先が必ず見つかるとは限らない。実習終了後、報告書の提出とともに担当教員の前で実習報告を中心に面接を行うことがある。

単位認定対象となる実習は下記4点について担当教員が認めたものに限る。

- (1) 実習内容が受入先の業務あるいは業務に準じているものであること。
- (2) 実習内容が就業経験に適したものであること。
- (3) 正味実習期間が合計28時間以上、かつ5日以上であること（業務の研修時間や業務を知るための見学時間は含まれる）
- (4) 実習期間は夏期休業期間中とする。（原則、履修授業との重複は認めない。）

成績評価の方法

講義における演習、実習先の評価、報告書、面接により評価する。原則として履修中止は不可であるが、授業の計画1～3の講義・説明を受け、かつ実習先が見つからない場合に限り履修を中止することができる。実習を円滑に進めるために、担当教員と連絡を密に取ること。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

なし

テキスト

なし

参考書

必要に応じて紹介する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。

科目名	理工系インターンシップ実習 <2>		
教員名	千代 英一郎、杉山 賢二		
科目ナンバー	1701445100	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

インターンシップはボランティア活動とともに、社会体験型の授業として多くの教育機関に広まりつつある。その目的は、民間企業、官公庁、公共団体、NPO法人などの組織における業務を対象として体験し、それら組織のなかでの業務の位置付け、役割の大切さを実感し、就職活動や大学卒業後の進路の設定に役立てることである。また、実習先の開拓、実習計画の作成、実習の実行、報告書の作成による自己評価といったステップを実施することにより、自主的にものごとを進めていく能力を身につけるとともに、報告書の作成やプレゼンテーションを通じて、自分の考えを人に伝えるための技術を修得することもそのねらいとして位置付けている。

到達目標

DP4(自発性、積極性)を実現するため、次の2点を到達目標とする。

- ①企業や組織におけるマナーを学び、実践できる。企業や組織の業務に関する内容を体験し、自分の将来の進路に役立てることができる。
- ②企業や組織での仕事が複数の人との共働により行われていることを理解し、自らその一員として活動できる。様々なコミュニケーション技術を学び実践できる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス：インターンシップについて、授業の進め方、心構え、申請方法、活動方法、報告、成績の評価などについて説明する。	
	【準備学修】 <ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたっては、教材のプリントなどを適宜読み進めておくこと。 ・また、課題が出された場合には直ちに着手し、十分な余裕をもって取り組むこと。 	60分
第2回	インターンシップセミナー(1)：インターンシップに対する心構え、社会での活動における周囲との接し方やマナーを中心に講義を受ける。	
	【準備学修】 <ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたっては、教材のプリントなどを適宜読み進めておくこと。 ・また、課題が出された場合には直ちに着手し、十分な余裕をもって取り組むこと。 	60分
第3回	インターンシップセミナー(2)：インターンシップに対する心構え、社会での活動における周囲との接し方やマナーを中心に講義を受ける。	
	【準備学修】 <ul style="list-style-type: none"> ・受講にあたっては、教材のプリントなどを適宜読み進めておくこと。 ・また、課題が出された場合には直ちに着手し、十分な余裕をもって取り組むこと。 	60分

第4回	報告書作成、プレゼンテーションの方法：インターンシップの報告書だけでなく、授業等のレポートの書き方、まとめ方、発表の道具であるパワーポイントの作成技術についての講義、演習をおこなう。	
	【準備学修】 ・受講にあたっては、教材のプリントなどを適宜読み進めておくこと。 ・また、課題が出された場合には直ちに着手し、十分な余裕をもって取り組むこと。	60分
第5回	実習先での実習：各会に共通的な内容は下記の授業の方法を参考のこと) (注：第5回から第14回の内容は必ずしも実習先の日程と対応するものではない)	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第6回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第7回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第8回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第9回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分

第10回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第11回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第12回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第13回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第14回	実習先での実習	
	実習先での実習内容について、必要な復習・予習を行うこと	60分
第15回	報告書作成・面接 実習が終わり次第、決められた様式にもとづいて報告書の作成を行う。なお、作成した報告書は実習先の承認を受ける必要がある。最後に、担当教員の前で実習についてのプレゼンテーション、質疑応答を行う。	
	【予習】プレゼンテーション資料、報告書まとめ	60分

授業の方法

授業の計画に示されているように、1回目にこの科目の概要を説明し、その後3回程度の講義、演習をおこなう。実習については自己開拓を基本とする。希望をしても実習先が必ず見つかるとは限らないことを覚悟しておいて欲しい。実習終了後、報告書の提出とともに実習報告を中心としたプレゼンテーション、面接を行う。

外部実習：自己開拓（選抜はしない）、大学キャリアセンター経由（キャリア支援センターと理工学部キャリア教育委員との協議の上選抜を行う）、学科・学部で紹介（学科担当教員が選抜する）などにより実習先を決め、実習申請書を作成、提出する。申請書を提出するためには原則として上記第1回～第4回に出席して なければならない。

単位認定対象となる実習は下記4点について担当教員が認めたものに限る

- ① 実習内容が受入先の業務あるいは業務に準じているものであること。
- ② 実習内容が就業経験に適したものであること。
- ③ 正味実習期間が合計28 時間以上、かつ5 日以上であること（業務の研修時間や業務を知るための見学時間は含まれる）
- ④ 実習期間は夏期休業期間中とする。（原則、履修授業との重複は認めない。）

成績評価の方法

講義における演習(5%)、報告書(50%)、実習先の評価(20%)、実習内容のプレゼンテーション(25%)により評価する。履修中止は不可の科目であるが、授業の計画1～4の講義を受け、かつ実習先を探したにも関わらずどうしても見つからない場合に限り履修を中止することができる。実習を円滑に進めるために、担当教員と連絡を密にとって欲しい。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準（学則第39条）に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

なし

テキスト

テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配付する。

参考書

必要に応じて指示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

ポータルサイトで周知する。 担当教員にメールにより予約をとってから訪問する。

科目名	理工系インターンシップ実習 <3>		
教員名	酒井 孝、齋藤 洋司、柴田 昌明、篠田 心治		
科目ナンバー	1701445100	単位数	2
配当年次	3	開講時期	2019年度 後期

テーマ・概要

インターンシップは、社会体験型の授業である。原則として民間企業または公的研究機関等の組織における業務を対象として体験し、それら組織のなかでの業務の位置付け、役割の大切さを実感し、大学卒業後の進路の設定に役立てることを目的とする。また、実習先への応募、実習計画の作成、実習の実行、報告書の作成による自己評価といった各ステップの体験を通して、自主的にものごとを進めていく能力を身につける。

到達目標

大学共通DP4（自発性、積極性）の実現のため、企業や公的研究機関などで実習を行い、組織の中での業務の位置づけが認識でき、大学卒業後の進路設定に役立てることが出来るようになる。

授業の計画と準備学修

回数	授業の計画・内容	
	準備学修(予習・復習等)	準備学修の目安(分)
第1回	ガイダンス	
	授業内容の復習	60分
第2回	インターンシップセミナー	
	授業内容の復習	60分
第3回	インターンシップセミナー	
	授業内容の復習	60分

第4回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第5回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第6回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第7回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第8回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第9回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分

第10回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第11回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第12回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第13回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第14回	外部実習	
	実習内容の復習と報告書作成	60分
第15回	報告書作成・面接	
	報告書の作成	60分

授業の方法

後期科目となっているが、前期中にこの科目の概要の説明、2回程度の講義、演習を行う。実習については自主応募を基本とする。希望をしていても実習先が必ず見つかるとは限らない。実習終了後、報告書の提出とともに、担当教員による実習報告を中心とした面接を行う。

単位認定対象となる実習は下記4点について担当教員が認めたものに限る。

- ①実習内容が受入先の業務あるいは業務に準じているものであること。
- ②実習内容が就業経験に適したものであること。
- ③正味実習期間が合計28時間以上、かつ5日以上であること（業務の研修時間や業務を知るための見学時間は含まれる）
- ④実習期間は夏期休業期間中とする。（原則、（原則、履修授業との重複は認めない。）

成績評価の方法

講義における演習、実習先の評価、報告書、面接により評価する。原則として履修中止は不可であるが、授業の計画1～3の講義・説明を受け、かつ実習先が見つからない場合に限り履修を中止することができる。実習を円滑に進めるために、担当教員と連絡を密に取ること。

成績評価の基準

成蹊大学の成績評価基準(学則第39条)に準拠する。/Grades in the course are based on the criteria of Seikei University Regulation No. 39.

必要な予備知識／先修科目／関連科目

必要な予備知識はないが、あらかじめWEBサイトでの調査やOBによる会社説明会などにて、企業研究や業界研究などインターンシップ情報を集めていることが望ましい。

テキスト

テキストは使用しない。必要に応じてプリントを配付する。

参考書

必要な参考文献があれば、その都度提示する。

質問・相談方法等(オフィス・アワー)

学内専用ホームページで周知する。